Kodak

i55 / i65 スキャナ

ユーザーズガイド

A-61527_ja

目次

1 はじめに 1
スキャナの機能 2
安全性に関する情報 2
MSDS 2
安全上の注意 2
ユーザへの注意事項 3
安全性の監督官庁による認定について 3
環境に関する情報 4
EMC 声明 4
米国 4
日本 5
騒音 5
電源システム接続 5

2 作業の開始 6
梱包品 6
システム要件 7
設置 8
サイト仕様 8
スキャナの設置 8
コダック ドライバ ソフトウェアのインストール 9
接続 12
USB 接続 12
USB ポートの確認 12
USB ケーブルの接続 13
SCSI 接続 14
SCSI インタフェース デバイス ID 14
SCSI ターミネータの設定 15
電源コードのスキャナへの接続 15
入力および出力トレイの取り付け 16
スキャナのロック解除 16
スキャナ電源投入／コダック ドライバ ソフトウェアのインストール終了 . . 17
アプリケーション ソフトウェアのインストール 17
スキャナのコンポーネント 18
前面 18
フラットベッド カバーの下 19
ADF 内部図 19
背面 20
インジケータ ライト 20

3 スキャナの使用方法 21
スキャナの電源のオン／オフ 21
入力トレイの調整 21
出力トレイの取り付けと調整 23
フラットベッドカバーの持ち上げ 23
スキャンの開始と停止 23
原稿の準備 24
原稿のスキャン 25
スキャナのインストールの確認 26
テスト画像の表示 29
アプリケーションソフトウェア 29

4 画像処理 30
概要 30
一般用語 30
カメラの選択 31
[Scan Validation Tool]（スキャン検証ツール）ダイアログボックス 32
[Scan Validation Tool]（スキャン検証ツール）の起動 33
TWAIN データソースの使用 34
[Kodak Scanner Properties]（コダックスキャナのプロパティ）ダイアログボックス 34
[Kodak Scanner Properties]（コダック スキャナのプロパティ）ダイアログボックス上のボタン 34
[Imaging]（イメージング）タブ 35
白黒画像のスキャン 36
カラー画像のスキャン 40
グレースケール画像のスキャン 41
[Paper]（ペーパー）タブ 42
クロップ値 42
追加用紙選択 44
[Compression]（圧縮）タブ 45
[Dropout]（ドロップアウト）タブ 46
[Multifeed]（マルチフィード）タブ 47
[Options]（オプション）タブ 48
[Setup]（セットアップ）タブ 49
[Info]（情報）タブ 50
ISIS ドライバの使用 51
[Scanner Settings]（スキャナ設定）ダイアログボックス 51
[Scanner Settings]（スキャナ設定）ダイアログボックス上のボタン . . . 51
画像処理の設定 53
ページサイズとレイアウト 55
[More Scanner Settings]（詳細スキャナ設定）ダイアログボックス . . . 59
[Image Control]（画像コントロール）オプション 60
[Color Dropout]（カラードロップアウト）オプション 62
[Scanner Control]（スキャナコントロール）ダイアログボックス . . . 63
[Multi-Feed Detection]（重送検知）オプション 63
スキャナのエネルギー節約機能 64
トランスポートタイムアウト 64
スキャン領域の定義 64
[Scan Area]（スキャン領域）ダイアログボックス 65

5 保守 66
清掃手順 66
フィードローラの清掃 66
フィードモジュールの清掃 67
イメージング領域の清掃 68
プラテンガラスの清掃 68
交換手順 69
フィードモジュールの交換 69
ペーパーフィードローラの交換 70
入力トレイの交換 72
フラットベッドカバーの交換 73
スキャナのロック 73
供給品と消耗品 75

6 トラブルシューティング 76
インジケータライトとエラーコード 76
原稿紙詰まりの除去 76
サービスについて 76
問題解決 77
スキャナが機能しない 79
USB 接続のテスト 82
USB 接続の問題 83

付録 A 仕様 85

付録 B 保証情報 - 米国 86

1 はじめに

コダック i55 および i65 スキャナは、ワークグループをはじめとする分散アプリケーションに最適なコンパクトな文書スキャナです。これらのスキャナは、毎分 32 ページ（200dpi 白黒読み取り時）をスキャンする 50 ページ自動原稿フィーダおよびフィード不可原稿用のフラットベッドを備えています。ユーザによる画像処理の要求に応じて、コダック i55/i65 スキャナには TWAIN データソースおよび ISIS ドライバが同梱されています。

- コダック i55 スキャナ — デスクトップ型片面カラースキャナ
- コダック i65 スキャナ — デスクトップ型両面カラースキャナ

このユーザーズガイドは、TWAIN データソースおよび ISIS ドライバを使用するコダック i55 および i65 スキャナについての情報と手順を示しています。特に指示がないかぎり、このガイドの情報はこれら両方のスキャナモデルに適用されます。

スキャナの機能

- 簡単な操作
- 小さくコンパクトなサイズ
- 自動原稿フィーダを使用して最大 21.6 x 86cm（8.5 x 34 インチ）までスキャン（ホスト PC に十分なメモリが必要）詳細については、「システム要件」を参照してください。
- フラットベッドを使用して最大 8.5 x 11.69 インチ /A3 までスキャン
- 32ppm でレターサイズの原稿をスキャン（200dpi、白黒、両面、縦方向）
- カラー、白黒、グレースケール、白黒とグレースケールの同時印刷、またはカラーと白黒の同時印刷を選択できます。
- 簡単な清掃と保守
- 75 ～ 600dpi の出力解像度
- ISIS ドライバおよび TWAIN ドライバ同梱
- 重送検知による長さ確認
- USB2.0 または SCSI II インタフェースの選択

安全性に関する情報

MSDS

化学製品の化学物質安全データシート（MSDS）は、コダック Web サイト（www.kodak.com/go/msds）で入手できます。Web サイトから MSDS にアクセスするときには、化学物質安全データシートを必要とする消耗品のカタログ番号を提示する必要があります。供給品およびカタログ番号のリストについては、このガイドで後述する「供給品と消耗品」を参照してください。

安全上の注意

- スキャナとともに提供されている電源（Sino-American モデル SA60-24）だけを使用してください。

重要 : 別の電源モデルや別のメーカーの電源を使用しないでください。

- 必ず正しい AC 電源を使用してください。
- 感電しないように注意してください。スキャナと電源装置は室内の乾いた場所でのみ使用してください。
- 湿度の高い場所やほこりの多い場所に設置しないでください。

ユーザへの注意事項

ユーザやその管理者は、機械の操作に常識的な注意を払う必要があります。注意事項には、たとえば次の内容が含まれます。

- 過度にゆったりした服装を避け、袖口のボタンを外さないようにしてください。
- 外れやすい装身具、ブレスレット、大きな指輪、長いネックレスなどは身に付けないようにしてください。
- 髪の長さは短めにし、必要に応じてヘア ネットを使用し、長い場合はまとめてください。
- 機械に引き込まれる恐れのあるものは、機械に近づけないようにします。
- 時折十分な休憩を取って、集中力を保つようにします。
- コダック推奨の清掃手順に従ってください。エアー、液体またはガススプレークリーナを使用してはなりません。これらのクリーナは、塵、汚れまたはごみをスキャナ内の別の位置へ移動するだけであり、スキャナの誤動作が発生する恐れがあります。

監督者は、コダック i55/i65 スキャナまたは他の機械装置の操作についての業務説明の一部として、これらの注意事項の実施状況を確認して遵守させる必要があります。

安全性の監督官庁による認定について

コダック i55 および i65 スキャナは、適用可能な国内および国際製品安全性および電子放射規制要件に適合しています。これらの規制には、たとえば次のようなものがあります。

国または地域	安全性の承認	安全規格マーク	電磁規制	EMC マーク
オーストラリア			AS/NZS CISPR 22 Class B	C-Tick
カナダ規格	CAN/CSA-C22.2 No. 60950	C - UL	カナダ ICES - 003 Issue 3 Class B	
中華人民共和国	GB4943	CCC “S&E”	GB 9254 Class B GB 17625.1 Harmonics	CCC “S&E”
欧州連合		CE	EN 55022 ITE Emissions Class B EN61000-3-2 電源高調波 EN 61000-3-3 フリッカ EN 55024 ITE Immunity	CE
ドイツ	EN 60950	TUV GS		
国際規格	IEC 60950		CISPR 22 Class B	
日本			VCCI Class B	VCCI
台湾			CNS 13438 Class B	BSMI
米国	UL 60950	UL	CFR 47 Part 15 Subpart B FCC Class B	

環境に関する情報

- コダック i55 および i65 スキャナは、世界的な環境要件を満足するよう設計されています。
- 保守またはサービス期間中に交換した消耗品の廃棄についてはガイドラインがあります。各国の規定に従ってください。
- コダック i55 および i65 スキャナには、回路ボードのハンダに鉛、ガラスレンズ、ランプ内に水銀が使用されています。この物質の廃棄は、環境への配慮から規制されている場合があります。廃棄またはリサイクル情報については、お近くの行政機関に問い合わせるか、米国では電子産業同盟（Electronics Industry Alliance）の Web サイト（www.eiae.org）をご覧ください。
- 製品パッケージはリサイクル可能です。
- コダック i55 および i65 スキャナは、「Energy Star」プログラムに適合しています。

EMC 声明

米国

この装置は、FCC 規則の Part 15 に従った Class B デジタル装置に対する制限に適合していることが検査され、証明されています。これらの制限は、居住設備での有害な電波障害に対して適切な保護機能を提供するように設計されています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用しており、放出する可能性があるため、説明書に従って設置または使用しないと、無線通信を妨害することがあります。ただし、取扱説明書に従って設置した場合でも障害が発生する可能性があります。この装置が無線通信またはテレビ受信の障害となる場合には（これは装置をオン／オフすることで判定できます）、次の 1 つ以上の方法で障害を改善されることをお勧めします。

- 受信アンテナの向きや位置を変更する。
- この装置と受信機との距離を広げる。
- この装置を、問題の機器が接続している回線とは異なるコンセントに接続する。
- 詳しい指示については、取扱店または経験のあるラジオ／テレビ技術者にご相談ください。

法令遵守に責任のある当事者により明白に承認されていない変更または修正を行うと、装置を操作する権限が無効になる場合があります。シールド付きインタフェースケーブルが製品または指定の追加機器とともに提供されている場合、あるいは製品の設置時に使用すべきものとして定義された付属品がある場合、FCC 規制に適合するためにそれらの品目を使用する必要があります。

日本

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

騒音

Maschinenlärminformationsverordnung – 3, GSGV
Der arbeitsplatzbezogene Emissionswert beträgt <70 db(A).

[機械騒音情報法令 – 3, GSGV
操作者位置の騒音は <70dB（A）以下。]

電源システム接続

この製品は、相電圧 230V のノルウェーの IT 電源システム向けにも設計されています。

2 作業の開始

梱包品

開梱と梱包品確認の前に

- コダック i55 または i65 スキャナ（入力トレイおよびフラットベッドカバー付き）
- 出力トレイ
- フィードモジュール
- USB2.0 ケーブル
- 電源
- 電源コード
- 製品パックには、次の品目が含まれています。
  - バンドルされたインストール CD およびアプリケーション CD
  - 登録シート
  - ユーザーズガイド
  - クイックガイド
  - クイックインストールガイド
  - サービス連絡先シート
  - チラシ類

システム要件

次に、コダック i55 および i65 スキャナを実行するための推奨システム構成を示します。

スキャナの機能を最大に引き出すための最適要件

- Intel Pentium IV、2.5 GHz プロセッサ
  - 512 MB の RAM：35.56cm（14 インチ）以下の原稿を 400dpi、カラー、グレースケール、または白黒でスキャンするために必要。
  - 2 GB の RAM：86.36cm（34 インチ）以下の原稿を 400dpi、カラー、グレースケール、または白黒でスキャンするために必要。
  - 2 GB の RAM：35.56cm（14 インチ）以下の原稿を 600dpi、カラー、グレースケール、または白黒でスキャンするために必要。
  - 3 GB の RAM：86.36cm（34 インチ）以下の原稿を 600dpi、グレースケール、または白黒でスキャンするために必要。
- USB ポート 2.0（最適）または SCSI II
- Windows 2000 Professional または Windows XP (Professional/Home)
- ドライバをインストールするには、ハードディスクに 15MB の空容量が必要です。アプリケーションおよび画像の保存には、ハードディスクに追加の容量が必要です。
- CD-ROM ドライブ

基本的なスキャナ動作を可能にするための最小要件

次の最小要件では、スキャナ速度が仕様に記載された値よりも低くなることがあります。

- Intel Pentium III、1GHz プロセッサ、512MB RAM
- USB ポート 1.1 または SCSI
- Windows 2000 Professional、Windows ME、Windows 98SE または Windows XP (Professional/Home)
- ドライバをインストールするには、ハードディスクに 15MB の空容量が必要です。アプリケーションおよび画像の保存には、ハードディスクに追加の容量が必要です。
- CD-ROM ドライブ

注： 長い原稿のスキャンまたは高解像度でのスキャンが可能かどうかは、ホスト PC で使用できるメモリの量の影響を受けます。スキャン用アプリケーションが使用するメモリ量の違いにより、長い原稿を非常に高解像度でスキャンすると問題が発生することがあります。上記のメモリのガイドラインは控え目に見積もったものであり、お使いのホスト PC の構成とスキャン用アプリケーションにより実際とは異なる場合があります。

設置

スキャナを気を付けて箱から取り出し、内容を確認します。不足しているものまたは破損しているものがある場合、すぐに取扱店に問い合わせてください。

サイト仕様

スキャナの設置場所：

- オフィス環境に適した温度と湿度の清潔な場所

重要： スキャナと電源装置は室内の乾いた場所でのみ使用してください。

- 直射日光の当たらない場所。日光や高熱に直接さらすと、ユニットが損傷を受け、画質に影響を与えることがあります。
- 7.5kg（16.5 lbs.）の重量に耐える安定した水平な場所。
  傾きがあったり、安定していない場所に設置すると、機械やフィードの問題の原因になります。
- 電気コンセントからの距離が 1.52m 以内で、コンセントへの接続が容易な場所。

スキャナの箱や梱包材は搬送に備えて保管してください。

スキャナの設置

次の順序でスキャナを設置します。

1. コダックドライバソフトウェアをインストールします。
2. USB または SCSI 接続が可能なことを確認し、スキャナと PC 間のケーブルを接続します。
3. 電源コードをスキャナに接続します。
4. 入力および出力トレイを取り付けます。
5. スキャナのロックを解除します。
6. スキャナの電源をオンにします。
7. （SCSI II 接続に必要な）PC の再起動を行って、コダックドライバソフトウェアのインストールを終了します。
8. 他の提供されている（オプションの）アプリケーションをインストールします。

重要：

- スキャナを接続する前に、ホストPCにコダックドライバソフトウェアをインストールします。
- 最適な性能を得るため、可能な場合には USB 2.0 を使用します。

コダックドライバソフトウェアのインストール

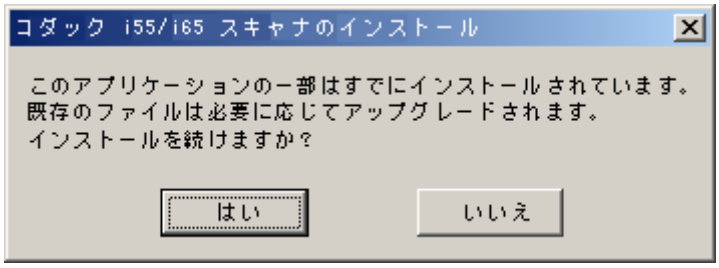
スキャナを PC に接続する前に、コダックドライバソフトウェアをインストールします。コダックドライバソフトウェアは、USB および SCSI II 接続両用の TWAIN データソースおよび ISIS ドライバを使用するコダック スキャナドライバで構成されています。

1. コダック i55/i65 スキャナインストール CD を CD-ROM ドライブに挿入します。インストールプログラムが自動的に起動します。

   注： CD が自動的に起動しない場合、デスクトップ上のマイコンピュータアイコンを開きます。CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックし、Setup.exe をダブルクリックします。

2. Install Scanner Software を選択します。

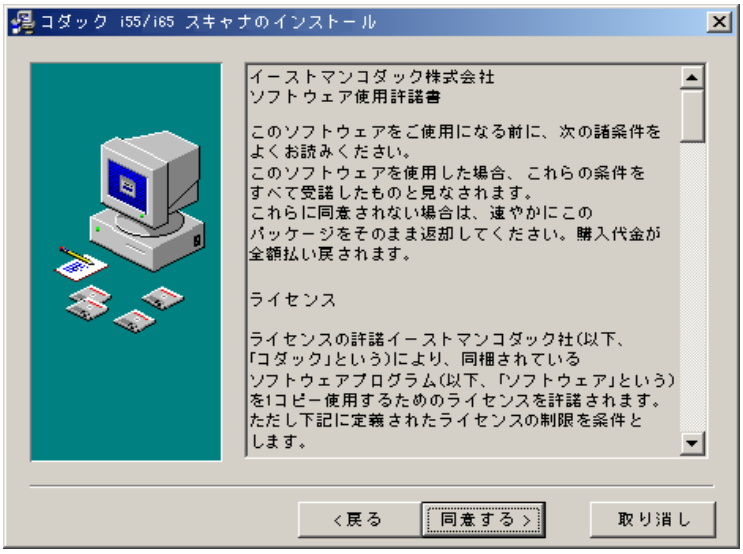
   コダック i55/i65 スキャナインストールウィンドウが表示されます。



   注：コンピュータ上に以前何がインストールされていたかに応じて、このウィンドウは表示される場合も、表示されない場合もあります。

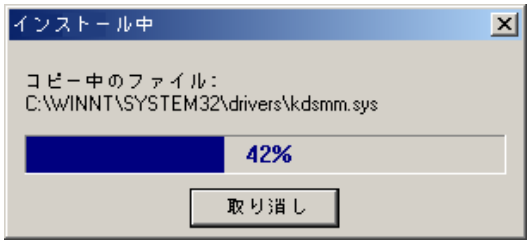
3. [はい] をクリックします。「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

4. [次へ] をクリックします。ソフトウェアライセンス契約ウィンドウが表示されます。



5. 契約書を読んだ後、[同意する] をクリックして作業を続けます。

6. ユーザーの氏名と社名を入力し、[次へ] をクリックします。



7. インストールが完了すると、次のダイアログボックスが表示されます。

8. [完了] をクリックします。

接続

コダック i55/i65 スキャナは、USB 接続および SCSI 接続の両方に対応します。USB または SCSI のどちらを使用するかに応じて、次のいずれかのセクションへ進みます。

USB 接続

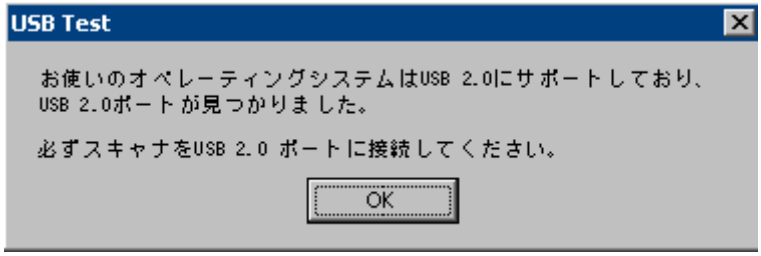
USB ポートの確認

コダックドライバソフトウェアをインストールした後、USB ポートの存在とそのバージョンを確認します。

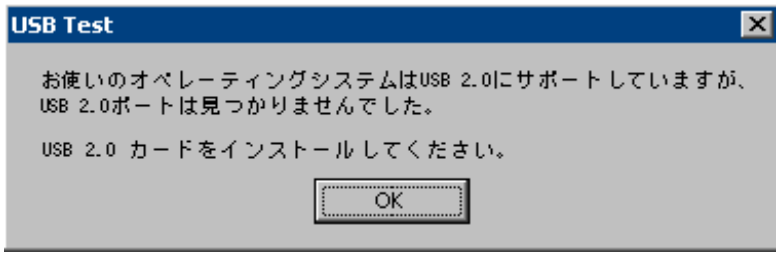
- [USB Test] を選択します。

USB 検証ツールがオペレーティングシステムとハードウェアをチェックし、USB カードのインストールが必要かどうかを判断します。

- 機能している USB 2.0 ポートが存在している場合、次のウィンドウが表示されます。[OK] をクリックして次のセクションへ進みます。



- PC に USB 2.0 ポートがインストールされていない場合は、USB 2.0 アクセサリカードをインストールしてください。



- 上記以外のメッセージが表示された場合、第 6 章「トラブルシューティング」の「USB 接続での問題」を参照してください。

USB ケーブルの接続

重要： コダックドライバソフトウェアをインストールしていない場合、先へ進むまえにまずそのソフトウェアをインストールしてください。

次の手順では、スキャナと PC の間の USB ケーブルの接続について説明します。PC に USB ポートがあることを確認してください。USB 2.0 カードをインストールした場合は、そのポートを使用します。それ以外の場合は、PC にある USB ポートを使用してください。

スキャナとともに供給されている USB ケーブルの両端の形状は異なっています。

1. USB ケーブルの B 端をスキャナ背部のスキャナ USB ポートに接続します。

2. USB ケーブルの A 端を PC 上の適切な USB ポートに接続します。

SCSI 接続

重要：「SCSI 接続」の項の手順を行うときには、かならず PC をオフにしてください。

次に示すように SCSI 信号ケーブルを接続します。

1. SCSI ケーブルを SCSI ポートに接続します。

   注：スキャナ上には 2 つの SCSI ポートがあります。これは、SCSI II パススルー接続です。50 ピン、高密度コネクタを使用して SCSI ケーブルをどちらかのポートへ接続して、スキャナへの接続を行います。

2. SCSI ケーブルのもう一方の端を使用する PC の SCSI ポートに接続します。

SCSI インタフェース デバイス ID

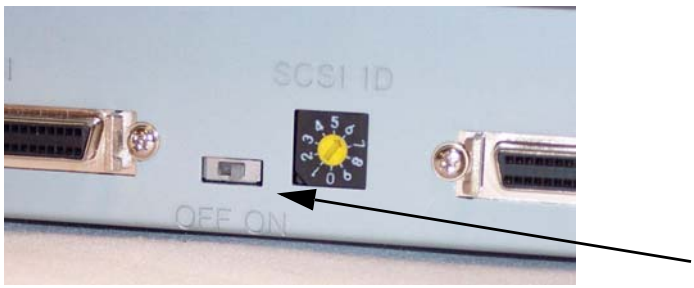
弊社のスキャナとほかの複数のデバイスをSCSIでチェーン接続することはお勧めしません。しかし、複数の SCSI デバイスをチェーン接続した場合、スキャナ上の SCSI ID セレクタを調整する必要のある場合があります。このセレクタは、スキャナに特定のデバイス ID を割り当てます。この割当てが既存の SCSI デバイスと重複した場合、新しい ID を選択します。

注： 出荷時の SCSI ID 設定は 6 です。SCSI ID 0 は通常、内部ハードディスクドライブに割り当てられ、7、8 および 9 は診断目的で使用されます。SCSI ID を 7、8 または 9 に設定すると、スキャナが正しく動作しません。

- 適切なツールを使用して、矢印が目的の ID 番号を指すまで SCSI ID セレクタスイッチを回します。

SCSI ターミネータの設定

スキャナには、SCSI ターミネータが内蔵されています。ターミネータの ON/OFF スイッチは、スキャナの SCSI ケーブルコネクタの間にあります。



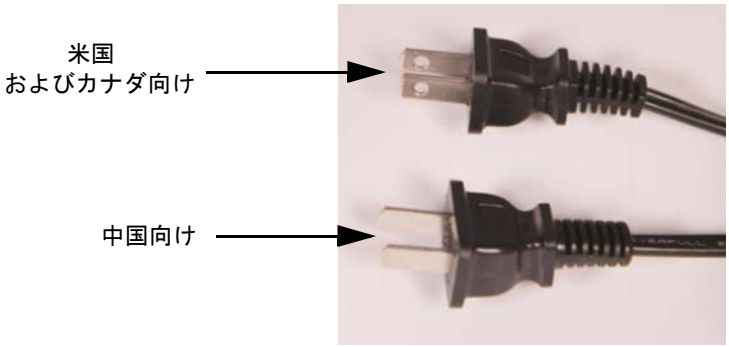
- スキャナが SCSI チェーンで唯一のあるいは最後のデバイスである場合、ターミネータスイッチを ON 位置に設定します。
- スキャナをコンピュータと別の SCSI デバイスの間に配置する場合、ターミネータスイッチを OFF 位置に設定してください。コダックは、SCSI チェーンでデバイス間にスキャナを接続することをお勧めしません。

電源コードのスキャナへの接続

ドライバのインストール後、電源と電源コードをスキャナに接続します。電源コンセントがスキャナから 1.52m 以内にあり、簡単に接続できることを確認してください。先へ進む前に、スキャナの電源が切れていることを確認します。

1. スキャナと同梱されている電源コードから、地域に合った適切な AC 電源コードを選択します。

   注： 米国 / カナダおよび中国向けの電源コードはよく似ています。違いとして、米国 / カナダ向け電源コードのプラグには穴がありますが、中国向けにはありあません。



2. ご使用のコンセントに適した電源コードを使用して電源に接続します。

3. 電源からの出力電源コードをスキャナの電源ポートへ接続します。

4. 入力電源コードを壁のコンセントへ接続します。

入力および出力トレイの取り付け

入力および出力トレイを取り付け、調整するための詳細な手順と説明は、第 3 章の「スキャナの使用」に示してあります。次に、使用開始のための手順の概略を示します。

1. 入力トレイを約 45° の角度に持ち上げます。
2. 入力トレイのワイヤレッグを下へ引き出します。
3. ワイヤレッグをフラットベッドカバー上のクリップ上部に配置し、押し下げてワイヤレッグをクリップにパチンとはめます。
4. 出力トレイ上の 3 つのタブを自動原稿フィーダの 3 つのスロットへ挿入することにより、出力トレイを取り付けます。

スキャナのロック解除

スキャナは、輸送時の損傷を防ぐためスキャナのフラットベッドカメラをロックするシッピングスイッチを備えています。

- スキャナの電源を入れる前に、シッピングスイッチをロック解除します。
- スキャナを新しい場所へ移動する前に、シッピングスイッチをロックします。 手順については、第 5 章の「スキャナのロック」を参照してください。

スキャナをロック解除するには

1. スキャナの前面を下にして立て掛けます。
2. （スキャナの下部にある）シッピングスイッチをロック解除の位置に押し下げてスキャナのロックを解除します。

3. スキャナを元の位置に戻します。

スキャナ電源投入／コダックドライバソフトウェアのインストール終了

USB ケーブルや SCSI ケーブルと電源の接続が完了し、コダックソフトウェアドライバが正しくインストールされると、PC とスキャナを正しい順序で電源投入すればインストールは完了します。

1. ホスト PC の電源を切ります。
2. スキャナ背部の電源スイッチを使用して、スキャナの電源を入れます（I）。

スキャナの電源を入れると、スキャナは一連のセルフテストを行い、緑の LED インジケータが点滅します。セルフテストが終了してスキャンの準備が完了すると、インジケータが点滅をやめ、点灯した状態になります。スキャナがセルフテストに合格しなかった場合は、第 6 章「トラブルシューティング」を参照してください。

3. ホスト PC の電源を入れます。

   次の画面は、Windows 2000 に基づいています。しかし、使用するコンピュータオペレーティングシステムに応じて、この画面は異なる場合があります。

   この時点で、オペレーティングソフトウェアにより、スキャナが自動的に検出されます。

4. スキャナのテストについては、第 3 章の「スキャナインストールの確認」を参照してください。

   ドライバのインストールが失敗した場合、第 6 章「トラブルシューティング」の「スキャナが機能しない」を参照してください。

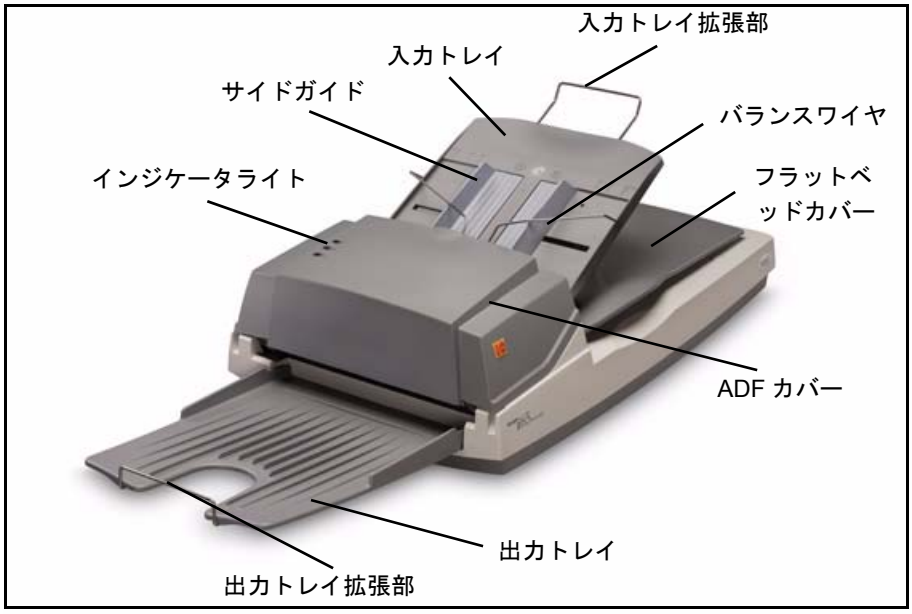
アプリケーションソフトウェアのインストール

コダックドライバソフトウェアのインストール時に、コダック スキャン検証ツールがデフォルト設定でインストールされます。指示と使用法については、第 3 章の「スキャナインストールの確認」を参照してください。

他のスキャン用アプリケーションも提供されています。これらのアプリケーションを使用する場合、あるいは提供されていない別の画像キャプチャアプリケーションを使用する場合、ソフトウェアのインストール方法と使用法についての説明は、それらのアプリケーションに添付されたユーザーズガイドを参照してください。

スキャナのコンポーネント

前面



インジケータライト - スキャナの状態を示します。詳細については、この章で後述する「インジケータライト」のセクションを参照してください。

サイドガイド - ガイドを内外にスライドさせて、スキャンしたい原稿サイズに合わせます。サイドガイドを調整する前に、バランスワイヤを持ち上げる必要があります。

入力トレイ - スキャン用に原稿面を下にして入力トレイに置きます。入力トレイは、最大 50 枚の原稿を収納します。

入力トレイ拡張部 - 36cm より長い原稿を使用する場合に引き出します。

バランスワイヤ - スキャンする原稿を入力トレイに置き、原稿を所定位置に配置し、原稿フィードを補助するためバランスワイヤを下げます。

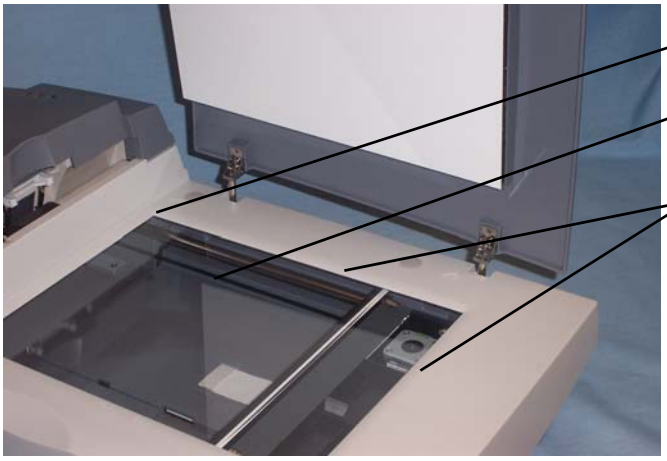
フラットベッドカバー - このカバーを持ち上げてフラットベッドにアクセスします。フラットベッド上で厚い本をスキャンできるようにより大きな空間を提供するよう、フラットベッドカバーは簡単に持ち上げることができます。

ADF カバー - ADF（自動原稿フィーダ）が持ち上がり、保守および紙詰まり除去のためのアクセスを可能にします。

出力トレイ - スキャンされた原稿を集めます。

出力トレイ拡張部 - A4（8.5 x 11 インチ）よりも長い原稿をスキャンするときにこの拡張部を引き出します。

フラット ベッド カバーの下

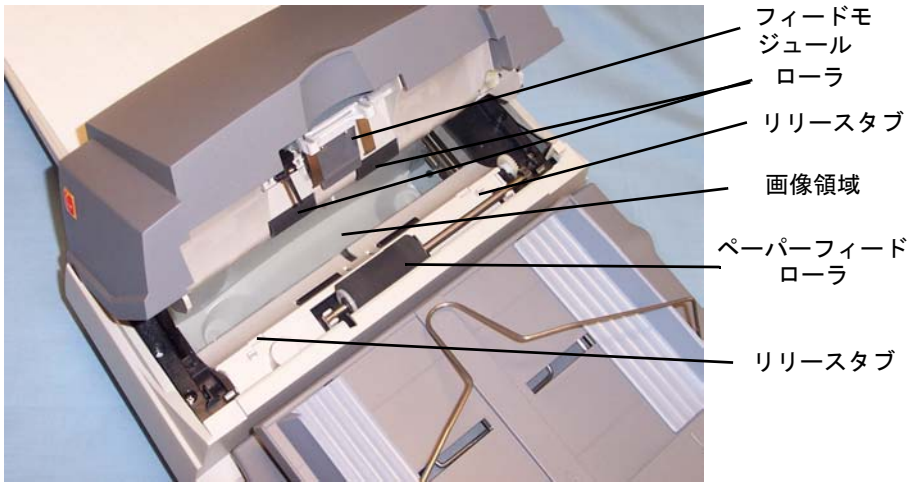


参照用マーク - 原稿全体がスキャンされるように、参照用マークに合わせてスキャンしたい原稿を配置します。

ガラスプラテン - ガラスプラテン上にスキャンする原稿面を下にして置きます。

参照用フレーム - ガラスプラテンの周囲にあるこれらの参照用フレームは、フラットベッド上に原稿を位置合わせするときに参考にできます。

ADF 内部図



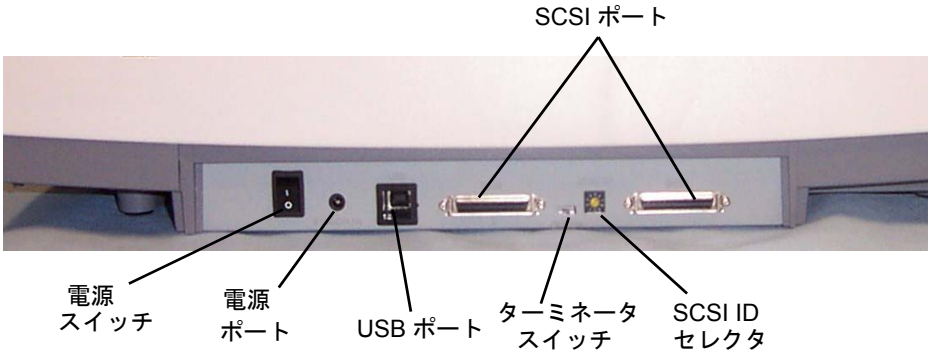
フィードモジュール - 原稿フィードを円滑に行い、さまざまなサイズ、厚さおよび紙質の原稿を 1 枚ずつフィードします。

ローラ - さまざまなサイズ、厚さおよび紙質の原稿を円滑にフィードします。

リリースタブ - ペーパーフィードローラの交換時に、これらのタブを使用してペーパーフィードローラカバーを外します。

イメージング領域 - 最適な画像品質のため、イメージング領域を清潔に保ってください。

背面



電源スイッチ - スキャナをオン／オフします。

電源ポート - 電源コードをスキャナに接続します。

USB ポート - スキャナを PC へ接続します。

SCSI ポート - 2 個の 50 ピン、高密度コネクタで、スキャナへの SCSI 接続を行います。

ターミネータスイッチ - スキャナが SCSI チェーンの中間または終わりにある場合に、SCSI 終端のオン／オフができます。

SCSI ID セレクタ - 特定のデバイス ID をスキャナに割り当てることができます。

インジケータライト

ADF には 3 つのインジケータライトがあります。

初めてスキャナをオンにすると、3 つのランプが瞬時点灯した後、点滅状態になります。この間に一連のセルフテストがスキャナで実行されます。ライトは、適宜点滅します。

Power（緑）- 電力が供給されている間点灯し続けます。

Ready（緑）

- ランプのウォームアップ中に点滅します。
- スキャナが準備完了すると点灯します。
- スキャナが待機モードになると消灯します。

Error（赤）- エラー状態が存在すると、点灯または点滅します。

注： スキャナが Energy Star の省電力モードの場合は、インジケータライトはすべてオフになります。

3 スキャナの使用方法

スキャナの電源のオン／オフ

- スキャナ背部の電源スイッチを押してスキャナの電源をオン（I）またはオフ（O）にします。

スキャナの電源をオンにすると、スキャナは一連のセルフテストを行います。セルフテストが完了すると、緑のインジケータライトは点灯したままになります。

入力トレイの調整

自動原稿フィーダを使用してスキャンするには、原稿を入力トレイに置きます。

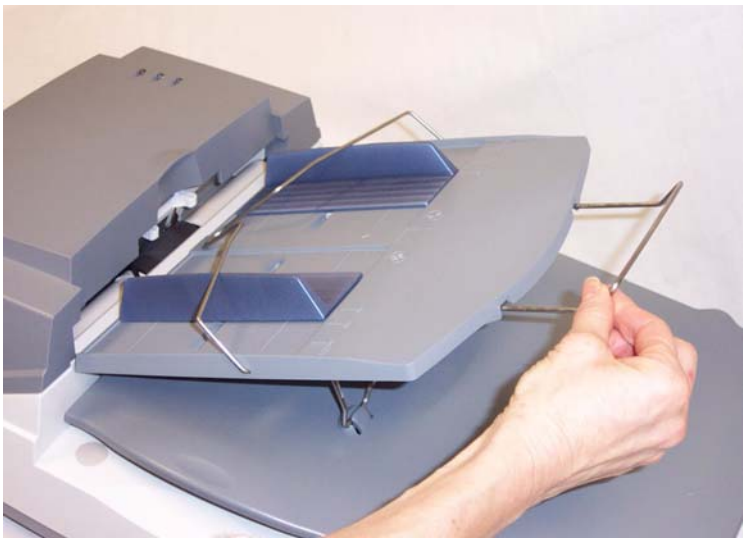
入力トレイの調整方法

1. 入力トレイを約 45° の角度に持ち上げます。
2. 入力トレイのワイヤレッグを下へ引き出します。
3. ワイヤレッグをフラットベッドカバー上のクリップ上部に置きます。

4. 入力トレイをわずかに押し下げてワイヤレッグをクリップにパチンとはめます。

長い（36cm より長い）原稿に対して：

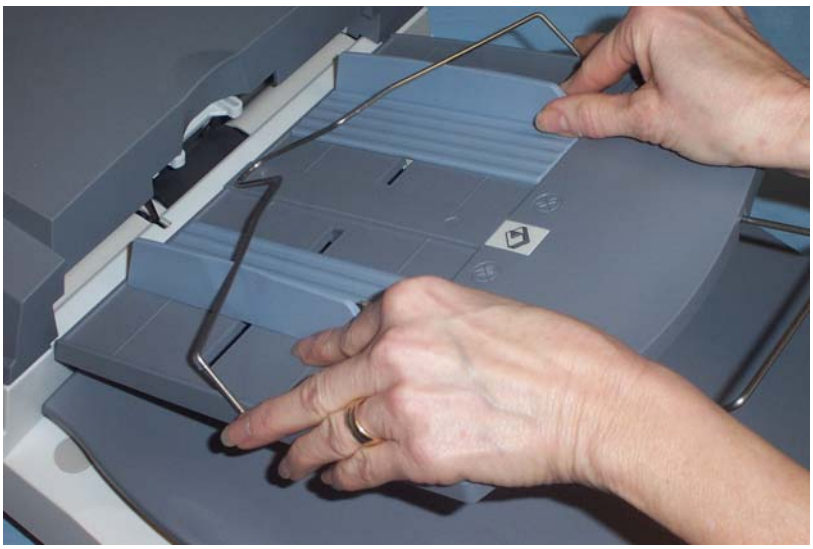
- 入力トレイ拡張ワイヤを必要な長さまで引き出します。



入力トレイは、スキャンする原稿のサイズに合わせて調整できるサイドガイドを備えています。

サイドガイドの調整方法：

- サイドガイドを内外に移動させて適切な位置に合わせます。



出力トレイの取り付けと調整

スキャンずみ原稿は、スキャン後に自動原稿フィーダから出力トレイに出力されます。原稿をスキャンする前に、出力トレイが正しく取り付けられ、調整されていることを確認します。

出力トレイの取り付けと調整方法：

1. 出力トレイを約 30° の角度に保持します。
2. 出力トレイ上の 3 つのタブを自動原稿フィーダ上の 3 つのスロットに挿入します。

3. トレイを下げて、所定位置にロックします。
4. 出力トレイ拡張ワイヤを必要な長さまで引き出します。

フラットベッドカバーの持ち上げ

スキャンする本が厚い（電話帳など）場合、フラットベッドカバーを持ち上げてフラットベッドに簡単にアクセスできます。

スキャンの開始と停止

スキャンを始める前に、スキャナの電源がオンで動作の準備ができていることを確認します。これは、緑のインジケータライトが点灯していることにより確認できます。

スキャンはアプリケーション用に開発されたソフトウェアによって制御されます。スキャンの開始と停止については、アプリケーションソフトウェアに付属の文書を参照してください。

原稿の準備

- スキャナへ給紙する原稿はすべて、先端を揃えて入力トレイの中央に置きます。これにより、フィーダは原稿を一度に 1 枚づつスキャナへ給紙することができます。
- 原稿のホッチキスとクリップは、スキャナと原稿を損傷する恐れがあります。スキャンする前に、ホッチキスやクリップをすべて取り除いてください。
- 原稿は、良好な状態である必要があります。

用紙重量：60g/m2 ～ 105g/m2

原稿の最小サイズ：9.4 x 14cm

原稿の最大サイズ：

- 自動原稿フィーダ - 21.6 x 86cm

  注： PC に十分なメモリが搭載されている場合、Long Paper モードでは 35.56cm ～ 86.36cm の原稿がスキャンされます（メモリの要件については、「システム要件」を参照してください）。Long Paper モードの詳細については、第 4 章「画像処理」を参照してください。

- フラットベッド - 21.6 x 29.7cm

用紙の種類：ボンド、レーザー、インクジェット、オフセット

注： 化学薬品でコーティングされた用紙では、ローラに過度の摩耗／膨張が生じる場合があります。

用紙上のインク：スキャンを開始する前に、用紙上のすべてのインクが乾いている必要があります。インクには、標準オフセット印刷用、インクジェットプリンタ用、熱転写用、手書き用などがあります。

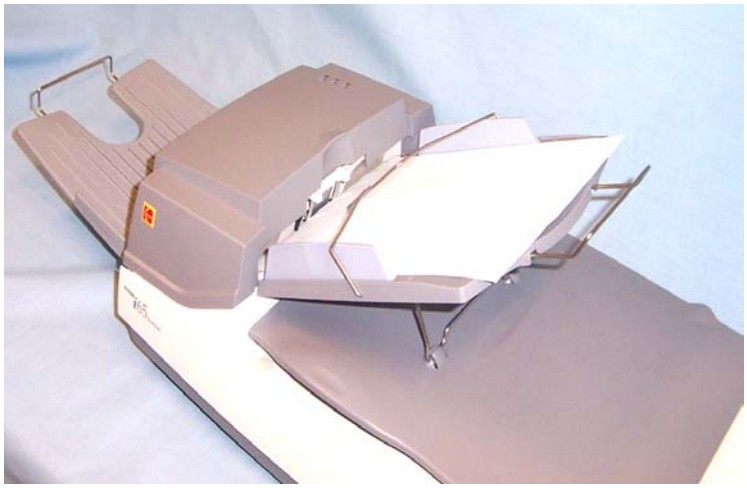
修正液：Liquid Paper®, Tipp-Ex®, Wite-out®, および他の類似した修正液

原稿のスキャン

ADF の使用方法

標準用紙サイズの原稿は、スキャナへ簡単に給紙できます。

- バランスワイヤを持ち上げ、スキャンしたい原稿面を下にしてスキャナの入力トレイに置きます。



フラットベッドの使用方法

ADF を使用してスキャンできない原稿をスキャンするため、フラットベッドを使用します。

1. フラットベッドカバーを持ち上げます。
2. 原稿面を下にしてガラスプラテン上に置きます。
3. 右上のコーナーをプラテンの参照用マークに合わせて原稿を置きます。

スキャナのインストールの確認

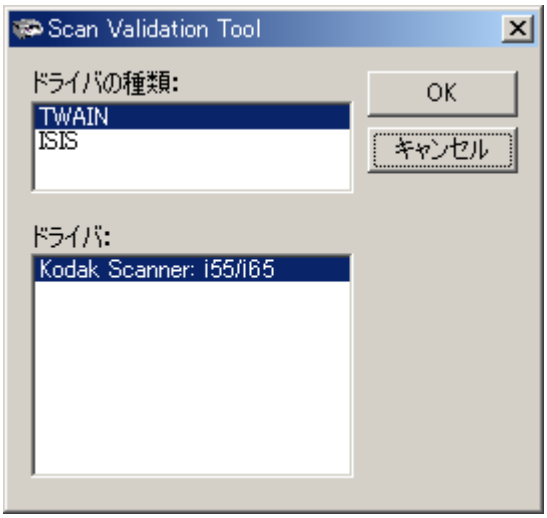
コダックは、[Kodak Scan Validation Tool]（コダック スキャン検証ツール）というテストアプリケーションを提供しています。ここでは、このツールを使用して給紙と PC 上でキャプチャされた画像の表示などの基本機能を実行する方法について説明します。

次の手順により、スキャナのインストールが成功したことを確認できます。この手順が成功した場合、スキャナを使用する準備ができています。この手順が失敗した場合、第 2 章の「スキャナのインストール」に示すインストール手順へ戻り、その手順を見直します。

注： [Scan Validation Tool]（スキャン検証ツール）ダイアログボックス上のすべてのオプションの詳細説明については、第 4 章「画像処理」を参照してください。

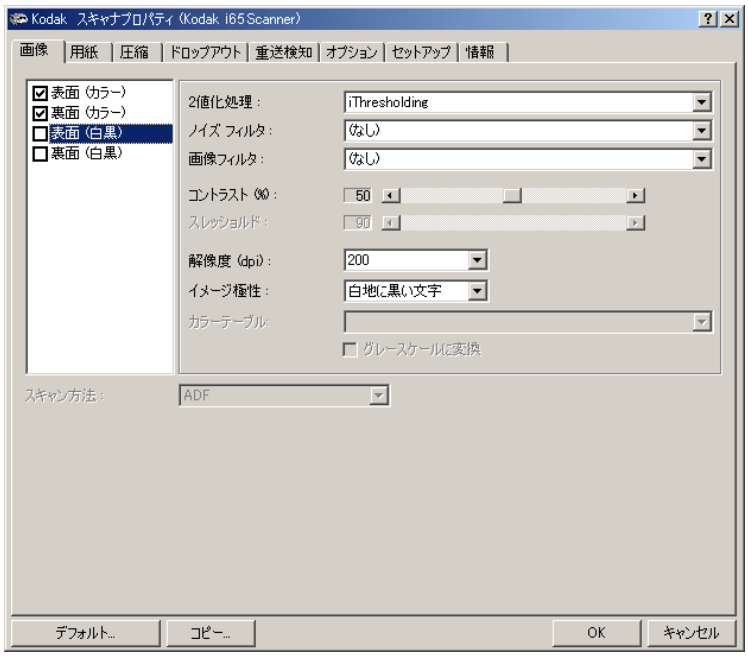
作業を始める前に、スキャナの電源がオンであり、スキャンの準備ができていることを確認してください。

1. [スタート] > [すべてのプログラム] > [Kodak] > [Document Imaging] > [Scan Validation Tool] を選択します。[Scan Validation Tool] ダイアログボックスが表示されます。ドライバタイプとして [TWAIN]（または [ISIS]）を選択し、ドライバとして [コダックスキャナ i55/i65] を選択します。[Scan Validation Tool] ダイアログボックスが表示されます。



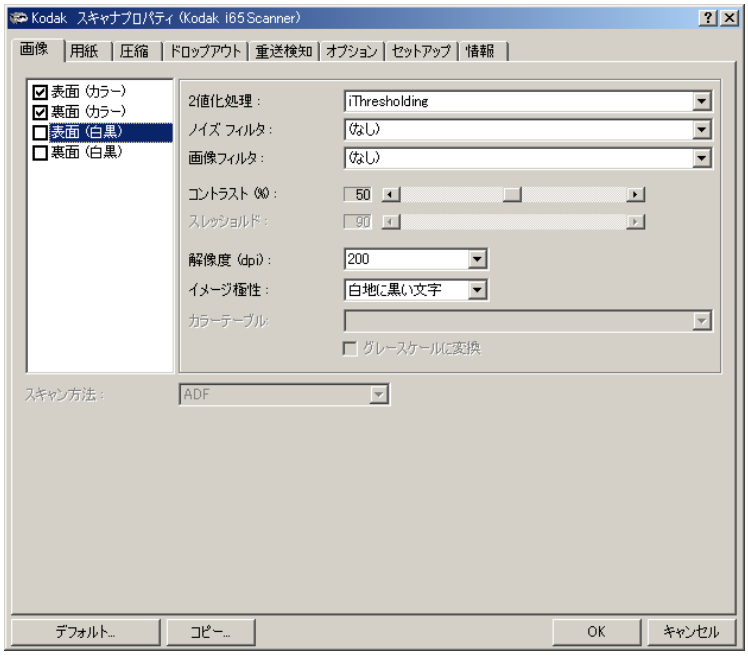
2. [Scanner] アイコンをクリックして、[Kodak Scanner Properties]（コダックスキャナのプロパティ）ダイアログボックスを表示します。

3. [Defaults]（デフォルト）を選択します。



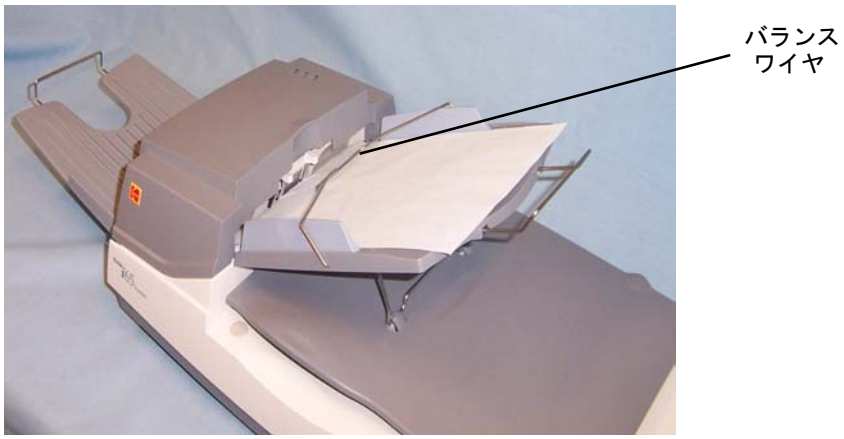
確認メッセージ [Reset all values to factory defaults?]（すべての値を工場設定デフォルト値にリセットしますか ?）が表示されます。

4. [OK] をクリックします。ソフトウェアは、工場出荷時のデフォルト設定へリセットされます。工場出荷時のデフォルト設定は、白黒画像のキャプチャに設定されます。コダック i55 スキャナの場合、原稿の片面がスキャンされます。コダック i65 スキャナの場合、原稿の両面がスキャンされます。
5. [Kodak Scanner Properties]（コダック スキャナのプロパティ）ダイアログボックスの [OK] をクリックします。



[Scan Validation Tool]（スキャン検証ツール）画面が表示されます。[Save Images To Files]（画像をファイルへ保存）がチェックされていることを確認し、4 つのアイコンのいずれかをクリックして [Scan Validation Tool]（スキャン検証ツール）ウィンドウに画像を表示します。

6. バランスワイヤを持ち上げ、スキャンしたい原稿面を下にしてサンプル原稿をスキャナの入力トレイに置きます。.



7. [Scan Validation Tool]（スキャン検証ツール）上の [スタート] ボタンをクリックします。

原稿がスキャンされ、[Scan Validation Tool]（スキャン検証ツール）ウィンドウに表示されます。

注：スキャナがランプ節約モードの場合、ランプのウォームアップに十分な時間が必要であるというメッセージが表示されます。

画像が表示された後、スキャナのインストール確認は完了します。

8. [閉じる] ボックス をクリックして、[Scan Validation Tool]（スキャン検証ツール）を終了します。

テスト画像の表示

スキャンした画像は、C ドライブの TWAIN フォルダにあります。ファイルは、次の命名規則を使用して命名されます。image0000001A.jpg は表面画像であり、image0000001B.jpg は裏面画像です。このファイルをダブルクリックすると、キャプチャされた画像がオープンされ、表示されます。

工場出荷時のデフォルト設定が使用されているので、画像品質はユーザの要求を満足するよう最適化されない場合があります。画像処理機能の詳細については、第 4 章「画像処理」を参照してください。「画像処理」では、利用可能な画像処理機能について詳細に説明しています。

テストが完了したら、テスト画像を削除してください。

アプリケーションソフトウェア

いくつかのスキャン用アプリケーションがスキャナに同梱された CD に提供されています。

他のキャプチャアプリケーションも使用できます。ソフトウェアの使用法については、それらのアプリケーションに添付されているユーザーズガイドを参照してください。

4 画像処理

概要

この章では、多くのユーザーがまだ知らない概念を紹介します。コダック i55 および i65 スキャナは、スキャンした画像を処理して画質を向上させることができます。これらの機能の使用により、スキャンした画像の見栄えが元の原稿よりも改善されることがあります。この章では、これらの強力な機能を利用できるように画像処理の基本的概念を説明します。

画像処理とは、生成される画像を改善する一定の方法で各画像の自動的な調整を可能にするスキャナのいくつかの機能のことです。画像処理機能の一般的な例としては、入力された原稿の歪みの修正、不要な境界線を除去するための画像エッジの切り取りあるいは画像上の不要な「ノイズ」の除去などがあります。画像処理の考えは、最小の再加工で優れた画像を得ることができるよう、この作業を自動的に行うことです。

ここでは、[Scan Validation Tool]（スキャン検証ツール）の各機能を順番に示し、画像処理機能について説明します。ご使用のソフトウェアアプリケーション（コダックキャプチャソフトウェアなど）のユーザインタフェース上でも同じオプションを利用できます。[Scan Validation Tool]（スキャン検証ツール）のすべての項目について、ここで説明します。

一般用語

次に、この章で使用されるいくつかの一般用語を示します。

モノクロまたはバイナリ - 白黒

カラー - フルカラー画像。グレースケールはカラースキャンで生成されます。

片面 - 原稿の片面（表面）のみスキャンされ、1 ページの画像が作成されます。

両面 - 原稿の両側がスキャンされ、2 ページの画像が作成されます。

カメラ -「カメラ」の概念を理解することは重要です。カメラとは、原稿のスキャンに使用されるスキャナ内のコンポーネントです。

コダック i55 スキャナは、片面スキャナです。カメラは、カラーと白黒／バイナリデータを同時に区別することができます。カメラは片面原稿、つまり表面カラー画像と表面白黒／バイナリ画像、をスキャンするので、原稿の片面をカラー／グレースケールまたは白黒で同時にキャプチャできます。

コダック i65 スキャナは、両面スキャナです。カメラは、カラーと白黒／バイナリデータを同時に区別することができます。カメラは両面原稿の両面、つまり表面カラー画像、裏面カラー画像、表面白黒／バイナリ画像および裏面白黒／バイナリ画像をスキャンするので、原稿の両面をカラー／グレースケール、白黒、カラー／グレースケールと白黒の組み合わせのいずれでもキャプチャできます。

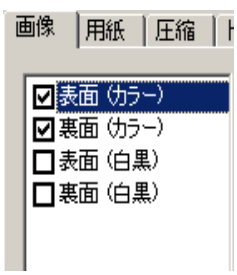
[Kodak Scan Validation Tool]（コダックスキャン検証ツール）を使用するときには、目的の結果を得るために原稿のスキャンにどのカメラを使用したいかを選択する必要があります。カメラを選択する際のガイドとして次の例を使用できます。

カメラの選択

[Kodak Scan Validation Tool]（コダック スキャン検証ツール）を起動し、ダイアログボックスでテスト原稿のスキャン用に画像を設定します。TWAIN および ISIS の両方とも、スキャナ内のカメラを参照するカメラ選択ボックスを持っています。次に、必要な結果を得るために正しいカメラを選択するいくつかの例を示します。これらの例には、TWAIN データ ソースが使用されています。

例 1: 両面カラー原稿のスキャン

両面カラー原稿をスキャンしたい場合、次の通りカメラを選択します。



カメラの選択

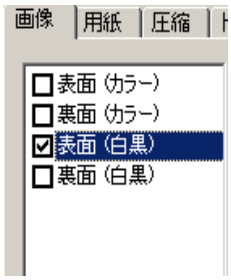
結果 - サイド 1

結果 - サイド 2

- [Front Color]（表面カラー）と [Rear Color]（裏面カラー）の両方を選択します。. どのカメラ（この例では [Front Color] 表面カラー）がハイライト表示されているかに応じて、原稿のどの面がまずスキャンされるかが決まります。結果として、2 つの画像がカラーでスキャンされます。

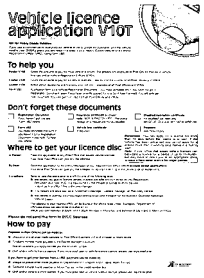
例 2: 両面カラー原稿で表面のみ白黒でスキャン

カラー原稿の表面のみを白黒でスキャンしたい場合、次の通りカメラを選択します。



カメラの選択

オリジナル - サイド 1

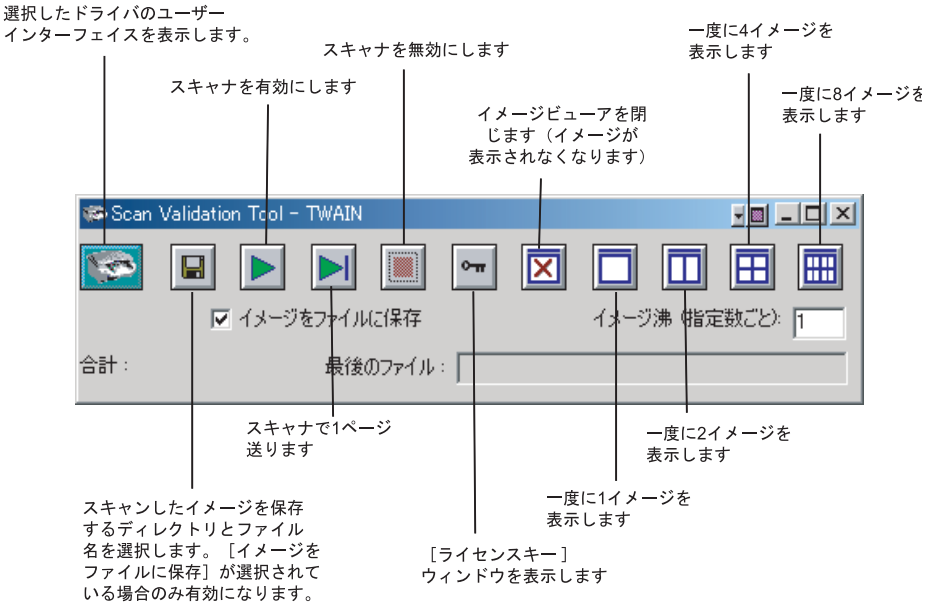


結果 - サイド 1

- [Front Bitonal]（表面白黒）を選択し、ハイライト表示させます。生成される画像では、原稿の表面が白黒になります。

[Scan Validation Tool]（スキャン検証ツール）ダイアログボックス

Scan Validation Tool（SVT）は、大半のコダックスキャナに提供されている診断用アプリケーションです。SVT ユーザインタフェースは、スキャナのすべての機能にアクセスできるため、スキャナが正しく機能していることを確認するための優れた方法です。[Scan Validation Tool]（スキャン検証ツール）により、TWAIN データソースと ISIS ドライバの両方を使用してスキャナの機能を確認できます。



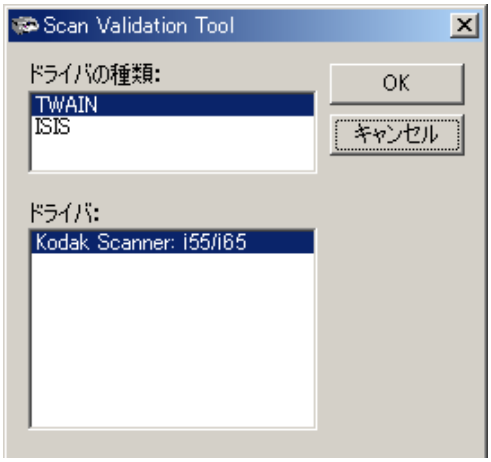
[Display Every]（各画像の表示）- スキャン中に表示したい画像のサンプリングレートを入力します。たとえば、各画像を見るには 1 を入力します。10 個ごとに 1 つの画像を表示するには、10 を入力します。

[Last File]（最後のファイル）- 最後に保存した画像の完全パスとファイル名を表示します。

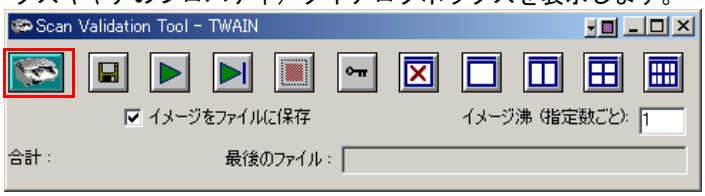
[Total]（合計）- 現在の [Scan Validation Tool]（スキャン検証ツール）セッションでスキャンされた画像の総数を表示します。

[Scan Validation Tool]（スキャン検証ツール）の起動

1. [スタート]>[ファイル名を指定して実行] を選択するか、[すべてのプログラム]>[Kodak]>[Document Imaging]>[Scan Validation Tool] を選択します。ファイル名を入力するか、[参照] を選択して ScanValidation.exe ファイルの場所を確認します。



2. ドライバタイプとして [TWAIN]（または [ISIS]）を選択し、ドライバとして [コダックスキャナ i55/i65] を選択します。[Scan Validation Tool] ダイアログボックスが表示されます。
3. [スキャナ] アイコンをダブルクリックして、[Kodak Scanner Properties]（コダックスキャナのプロパティ）ダイアログボックスを表示します。



TWAIN データソースの使用

TWAIN データソースは、コダックスキャナと通信を行うソフトウェアです。これは、i55 および i65 スキャナに提供されています。多くのスキャン用アプリケーションは TWAIN データソースをサポートしており、このデータソースを使用してこれらのアプリケーションと通信することができます。

ここでは、[TWAIN] タブ上のオプションを使用するスキャナ機能およびこれらのオプションの設定方法について説明しています。TWAIN データソースを使用する場合、このセクションの手順に従ってスキャナを設定します。ISIS ドライバを使用する場合、この章で後述する「ISIS ドライバの使用」を参照してください。

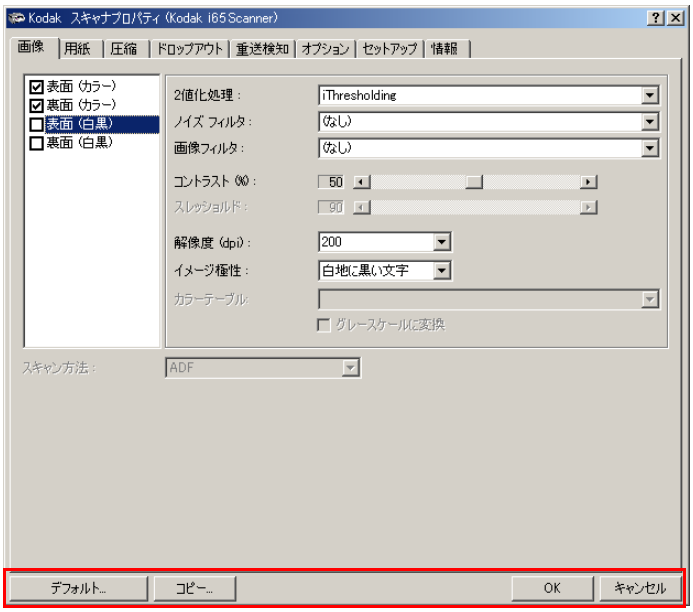
このマニュアルでは、表示されるすべてのダイアログボックスはコダック i65 スキャナ（両面スキャナ）上の機能を想定しています。コダック i55 スキャナ（片面スキャナ）の場合、オプションは片面スキャンのみに限られています。

[Kodak Scanner Properties]（コダックスキャナのプロパティ）ダイアログボックス

[Kodak Scanner Properties]（コダックスキャナのプロパティ）ダイアログボックスを使用して、スキャナ設定の確認と設定を行うことができます。このダイアログボックスは、いくつかのタブ付きウィンドウから成っており、各ウィンドウはこの章で説明されています。各タブをクリックして、必要な値をすべて設定します。すべてのタブ上で選択を完了するまで、[OK] をクリックする必要はありません。

[Kodak Scanner Properties]（コダック スキャナのプロパティ）ダイアログボックス上のボタン

ダイアログボックス下部にあるボタンを次に示します。



[Defaults]（デフォルト）- [Defaults]（デフォルト）を選択すると、[Reset all values to factory defaults?]（すべての値を工場デフォルトにリセットしますか?）というメッセージが表示されます。このメッセージに対して [Yes]（はい）をクリックすると、すべてのタブ上のすべての値が工場出荷時のデフォルト設定へリセットされます。

[Copy]（コピー）- 選択されたカメラ用に表面カメラの設定を裏面カメラの設定にコピーします（白黒、カラーまたはグレースケール）。たとえば [Front Bi-tonal]（表面 2 色単位）がハイライト表示されている場合、これらの値は [Rear Bi-tonal]（裏面白黒）カメラへコピーされます。[Front Color]（表面カラー）がハイライト表示されている場合、これらの値は [Rear Color]（裏面カラー）カメラにコピーされます。このオプションは、コダック i65 スキャナのみで利用可能です。

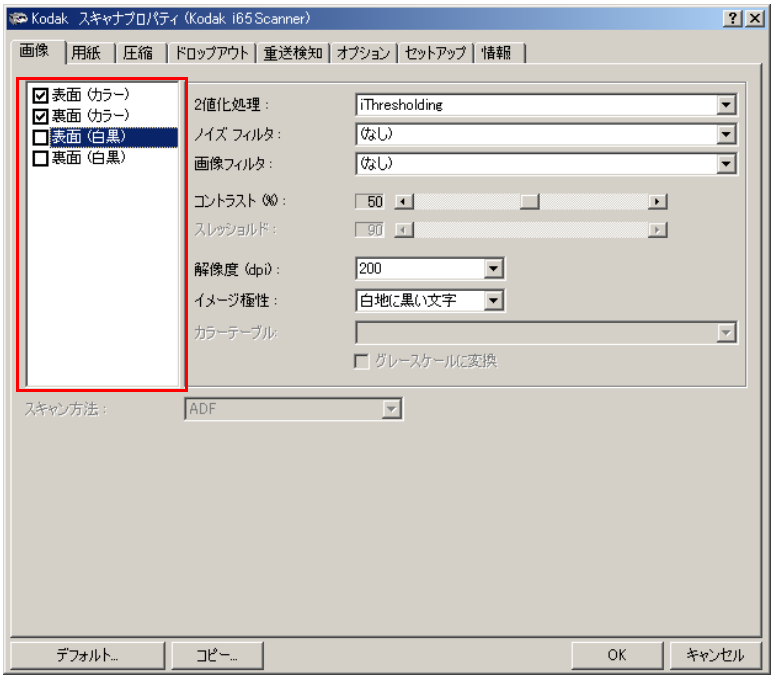
[OK] - すべてのタブ上で設定された値を保存します。

[Cancel]（キャンセル）- 変更を保存せずにダイアログボックスを閉じます。

[Imaging]（イメージング）タブ

[Imaging]（イメージング）タブを使用して、スキャナに適用できるいくつかの画像処理値を定義できます。

[Camera Selection]（カメラ選択）ボックス - 個々の画像処理値を定義できる原稿の利用可能な面（表面または裏面）を表示します。カメラの詳細情報については、この章の始めにある「カメラの選択」を参照してください。



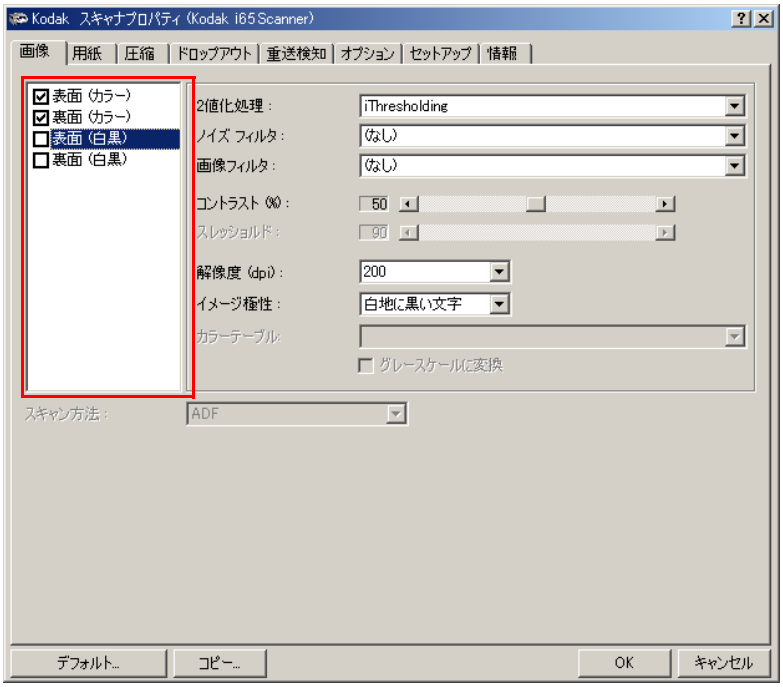
コダック i65 スキャナでは、スキャンされる原稿の各面用に別個のカメラがあります。コダック スキャナドライバを使用して、カメラ設定を個別にコントロールできます。いくつかの設定は白黒画像だけに適用され、他の設定はカラー画像に適用されます。適切なカメラと画像タイプを選択することにより、スキャナの出力をコントロールできます。

- コダック i55 スキャナの場合、[Front Color]（表面カラー）または [Front Bi-tonal]（表面白黒）あるいはその両方を選択できます。つまり、原稿がどのように配置されているかに応じて原稿の表面をスキャンでき、1つまたは2つの画像を作成できます。
- コダック i65 スキャナの場合、任意の個別カメラ（つまり、[Front Color]（表面カラー）、[Rear Color]（裏面カラー）、[Front Bi-tonal]（表面白黒）または [Rear Bi-tonal]（裏面白黒））または任意の組み合わせのカメラを選択できます。つまり、原稿の表面、裏面または両面をスキャンでき、1 つ～ 4 つの画像を作成できます。
- [Camera Selection]（カメラ選択）ボックスでハイライト表示された項目により、[Imaging]（イメージング）、[Paper]（ペーパー）、[Compression]（圧縮）および [Dropout]（ドロップアウト）タブ上で利用可能な値が決まります。

  注： ハイライト表示された項目は必ずしも選択されているわけではありません。最終的な画像に設定項目を反映するには、変更中のハイライト表示された領域を、選択したカメラに適用してください。

白黒画像のスキャン

白黒画像は、白黒要素のみで構成されるスキャンずみ画像です。次に、白黒画像についてのみ説明します。



[Binarization]（バイナリゼイション）は、グレースケールまたはカラー画像を白黒画像に変換するプロセスです。この変換を行うにはいくつかの方法があります。コダックが提供している 2 つのオプションは、[iThresholding]（i スレッショルディング）および [Adaptive Threshold Processing]（適応しきい値処理）です。

これらのオプションはグレースケールのスキャンずみ画像に適用され、白黒電子画像を出力します。[iThresholding]（i スレッショルディング）および [Adaptive Threshold Processing]（適応しきい値処理）は、バックグラウンドカラーまたはシェーディングが異なっており、フォアグラウンド情報がカラー品質と暗さにおいて異なっているときでも、フォアグラウンド情報をバックグラウンド情報から区別します。同じ画像処理パラメータを使用してさまざまなタイプの原稿をスキャンでき、優れたスキャンずみ画像を得ることができます。

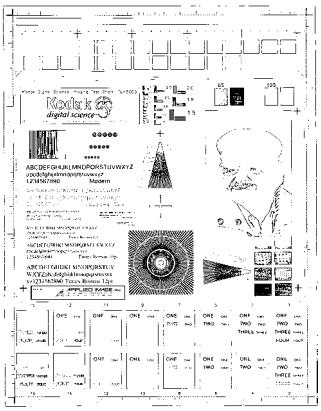
- [iThresholding]（i スレッショルディング）: [iThresholding]（i スレッショルディング）を選択することにより、スキャナは各原稿をダイナミックに評価して、最高品質の画像を生成するための最適なしきい値を決定できます。その結果、単一設定を使用し、原稿ソートの必要性なしに、さまざまな品質（つまり、薄いテキスト、陰のあるバックグラウンド、カラーバックグラウンドなど）の混合原稿セットのスキャンができます。

  [iThresholding]（i スレッションディング）を使用するとき、[Contrast]（コントラスト）だけが使用できます。

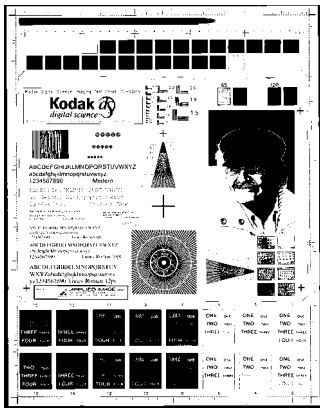
- [Adaptive Thresholding]（適応スレッショルディング：ATP）: [Adaptive Threshold Processor]（適応しきい値プロセッサ）は画像内のフォアグラウンド情報（テキスト、グラフィックス、ラインなど）をバックグラウンド情報（つまり、白または白でない用紙バックグラウンド）から区別します。

  [Adaptive Thresholding]（適応スレッションディング）を使用するとき、[Threshold]（しきい値）および [Contrast]（コントラスト）を調整できます。

[Adaptive Thresholding]（適応スレッショルディング）を選択すると、[Contrast]（コントラスト）値の範囲は 1 ～ 100 です。



固定スレッションディング ATP の禁止



ATP の許可

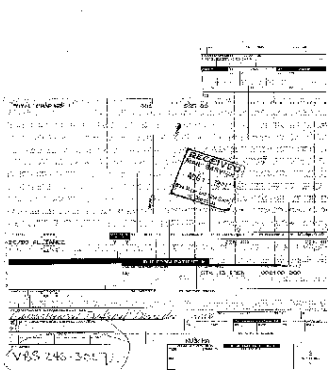
[Fixed Processing]（固定処理）- 白黒および他の高コントラスト原稿に使用します。黒白遷移を決定するため、単一レベルが設定されます。しきい値は、密度範囲全体にわたってプログラミング可能です。固定スレッショルディングでは、[Contrast]（コントラスト）は 0 に設定されます。[Fixed Processing]（固定処理）を選択した場合、[Contrast]（コントラスト）は利用できません。

[64-Level Bayer Dither]（64 レベルバイエルディザー）、[64-Level 45 Degree Clustered Dot Screen]（64 レベル 45 度クラスタ化ドット画面）および [64-Level Dispersed Dot Screen]（64 レベル分散ドット画面）- グレースケール画像をエミュレートする代替スクリーニングオプションを表します。

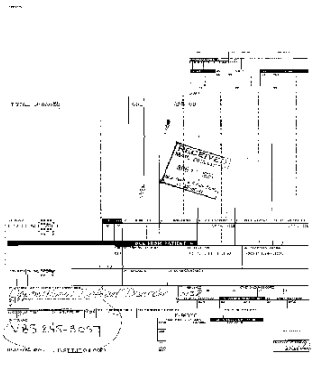
[Noise Filter]（ノイズフィルタ）- スキャンずみ画像のバックグラウンドに時々小さな点またはしみが現れます。これらのしみによりファイル圧縮サイズが増大され、これらのしみは通常画像情報を含んでいません。きわめて緻密な詳細（4 ポイントタイプでの "i" 上のドットなど）を含む原稿に対して [Noise Filter]（ノイズフィルタ）を使用すると、情報が失われる可能性があります。7 ポイントより小さなテキストの原稿をスキャンするとき、[Noise Filter]（ノイズフィルタ）を使用しないことをお勧めします。

[Noise Filter]（ノイズフィルタ）は、白黒画像のみに使用でき、表面と裏面を別個に指定できます。[(none)]（なし）、[Lone Pixel]（単独ピクセル）または [Majority Rule]（多数決）を選択します。

- [Lone Pixel]（単独ピクセル）では、白で囲まれている単一の黒ピクセルを白へ変換するか、黒で囲まれている単一の白ピクセルを黒へ変換することにより、白黒画像上のランダムノイズを減らします。
- [Majority Rule]（多数決）では、マトリクス内の過半数の白または黒ピクセルに応じて、マトリクス内の中心ピクセル値が設定されます。



[No Noise Filter Used]
（ノイズフィルタ使用せず）



[Lone Pixel]（単独ピクセル）

[Image Filter]（画像フィルタ）- ドットマトリクステキストを含む画像またはハーフトーンスクリーンを使用して陰のある、またはカラーのバックグラウンドに印刷された画像あるいはその両方の強調に使用されます。このフィルタは、ハーフトーンスクリーンによるノイズを効果的に排除します。[(none)]（なし）または [Halftone Removal]（ハーフトーン除去）を選択します。

- [Halftone Removal]（ハーフトーン除去）は、ドットマトリクステキストを含む画像またはハーフトーンスクリーンを使用して陰のある、またはカラーのバックグラウンドに印刷された画像あるいはその両方の強調に使用されます。このフィルタは、ハーフトーンスクリーンによるノイズを効果的に排除します。

[Contrast %]（コントラスト %）- 白と黒の間の差を調整することにより画像コントラストを設定します。したがって、画像がシャープまたはソフトになります。

低コントラスト設定では、黒と白の間の差は小さいので、画像はソフトになります。高コントラスト設定では、黒と白の間の差は大きいので、画像ははっきりとします。1 ～ 100 のコントラスト値を選択します。デフォルトは 50 です。

コントラスト 1

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
1234567890 Modern

コントラスト 60

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
1234567890 Modern

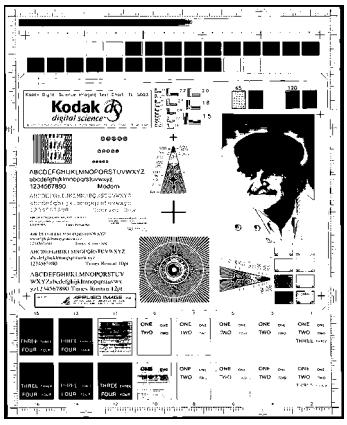
コントラスト 100

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
1234567890 Modern

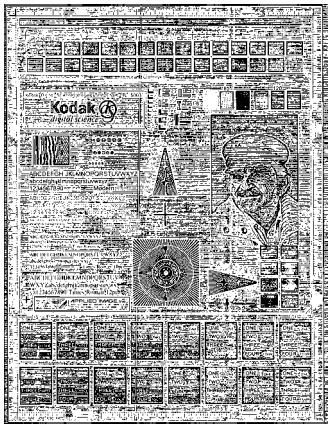
必要なコントラスト設定を行うため、[Contrast]（コントラスト）スライドバーを左右へドラッグすることによりコントラスト設定を調整します。あるいは、[Contrast]（コントラスト）テキストボックスに値（1 ～ 100）を入力できます。原稿をスキャンしてコントラストを確認します。

[Threshold]（しきい値）- グレースケール画像を白黒画像に変換するために使用します。しきい値は、0 ～ 255 の整数です。しきい値が小さいと軽い画像が生成され、バックグラウンドおよび微妙で不要な情報を抑制できます。しきい値が大きいと、濃い画像が生成され、淡い画像でも取り込めます。

必要なしきい値設定を行うため、[Threshold]（しきい値）スライドバーを左右へドラッグすることによりしきい値設定を調整します。あるいは、[Threshold]（しきい値）テキストボックスに値（0 ～ 255）を入力できます。原稿をスキャンして、しきい値を確認します。.



200dpi、80 しきい値
20 コントラスト



200dpi、80 しきい値
100 コントラスト

[Resolution]（解像度）またはインチあたりドット数（dpi）- スキャン用解像度を指示します。これは、主としてスキャンされた画像の品質を決定します。解像度が大きなほど、複製は良好になります。しかし、高い解像度でのスキャンでは、スキャン時間とファイルサイズも増加します。業界標準は 200dpi（約 8 ピクセル /mm）です。

ドロップダウンリストから解像度値を選択します。デフォルト値は 200dpi です。利用可能な解像度は、75、100、150、200、240、300、400 または 600 です。

[Polarity]（極性）- ホスト PC は、画像を標準極性または反転極性のどちらで保存するかを定義する情報をスキャナへ提供します。デフォルトの極性は白地に黒です。反転極性は黒地に白です。

白地に黒の極性

黒地に白の極性

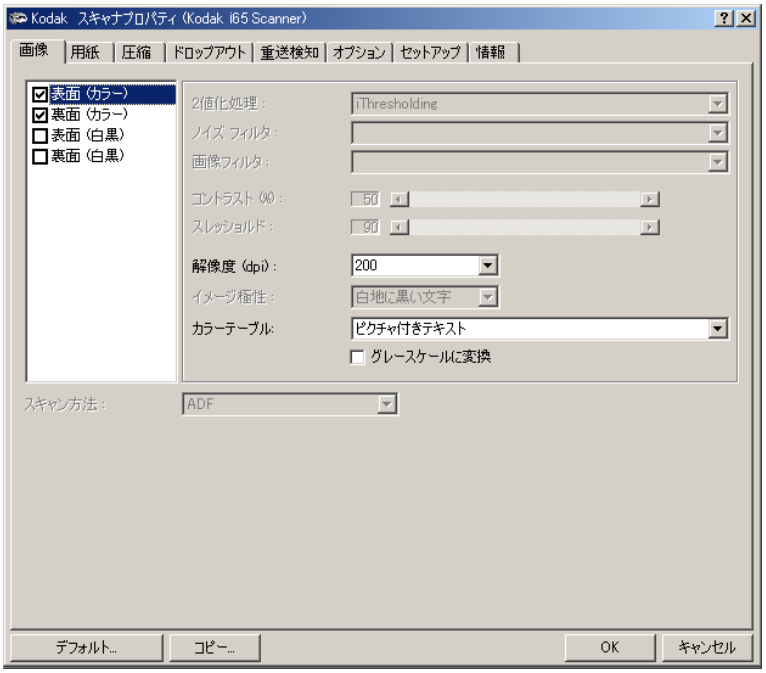
[Color Table]（カラーテーブル）- 白黒画像には適用できません。次の「カラー画像のスキャン」を参照してください。

[Paper Source]（用紙ソース）- 次のオプションを提供します。

- [ADF]：連続送りモードでスキャナを使用するときにこのオプションを選択します。
- フラットベッド：厚い原稿や製本された原稿（書籍）など自動原稿フィーダを使用してスキャンできない原稿のスキャンにフラットベッドを使用するときにこのオプションを選択します。
- [ADF/Flatbed]（ADF/ フラットベッド）：このオプションを選択し、原稿が ADF にない場合、スキャナは自動的にフラットベッドを使用します。

カラー画像のスキャン

次に、カラー画像のスキャンについてのみ説明します。



[Resolution]（解像度）またはインチあたりドット数（dpi）- スキャン用解像度を指示します。これは、主としてスキャンされた画像の品質を決定します。解像度が大きなほど、複製は良好になります。しかし、高い解像度でのスキャンでは、スキャン時間とファイルサイズも増加します。

ドロップダウンリストから解像度値を選択します。デフォルト値は 200dpi です。利用可能な解像度は、75、100、150、200、240、300、400 または 600 です。

[Color Tables]（カラーテーブル）- カラーテーブルの選択は、スキャナがスキャンされた原稿のカラーをどのように複製するかに影響します。[Color Tables]（カラーテーブル）は、異なる装置（スキャナ、プリンタ、モニタなど）の間で転送される画像のガンマ補正に使用できるカラー記述を保存している検索テーブルです。コダックの3つのデフォルトカラーテーブル、つまり [Pictures]（ピクチャ）、[Text]（テキスト）および [Text with Pictures]（ピクチャ付きテキスト）から選択でき、あるいはユーザが [Brightness and Contrast Control]（輝度およびコントラストコントロール）を使用して自分のカスタムカラーテーブルを作成した場合にも、これらのテーブルを利用できます。[Brightness and Contrast Control]（輝度およびコントラストコントロール）の詳細については、『リファレンスガイド、A-61506』を参照してください。

[Paper Source]（用紙ソース）- 次のオプションを提供します。

- [ADF]：連続送りモードでスキャナを使用するときにこのオプションを選択します。
- フラットベッド：厚い原稿や製本された原稿（書籍）など自動原稿フィーダを使用してスキャンできない原稿のスキャンにフラットベッドを使用するときにこのオプションを選択します。
- [ADF/Flatbed]（ADF/ フラットベッド）：このオプションを選択し、原稿が ADF にない場合、スキャナは自動的にフラットベッドを使用します。

グレースケール画像のスキャン

次に、グレースケール画像のスキャンについてのみ説明します。

[Resolution]（解像度）またはインチあたりドット数（dpi）- スキャン用解像度を指示します。これは、主としてスキャンされた画像の品質を決定します。解像度が大きなほど、複製は良好になります。しかし、高い解像度でのスキャンでは、スキャン時間とファイルサイズも増加します。

ドロップダウンリストから解像度値を選択します。デフォルト値は 200dpi です。利用可能な解像度は、75、100、150、200、240、300、400 または 600 です。

[Color Tables]（カラーテーブル）- カラーテーブルの選択は、スキャナがスキャンされた原稿のカラーをどのように複製するかに影響します。[Color Tables]（カラーテーブル）は、異なる装置（スキャナ、プリンタ、モニタなど）の間で転送される画像のガンマ補正に使用できるカラー記述を保存している検索テーブルです。カラーテーブルの選択は、スキャナがスキャンされた原稿のカラーをどのように複製するかに影響します。コダックの 3 つのデフォルトカラーテーブル、つまり [Pictures]（ピクチャ）、[Text]（テキスト）および [Text with Pictures]（ピクチャ付きテキスト）から選択でき、あるいはユーザが [Brightness and Contrast Control]（輝度およびコントラストコントロール）を使用して自分のカスタムカラーテーブルを作成した場合にも、これらのテーブルを利用できます。[Brightness and Contrast Control]（輝度およびコントラストコントロール）の詳細については、『リファレンスガイド、A-61506』を参照してください。

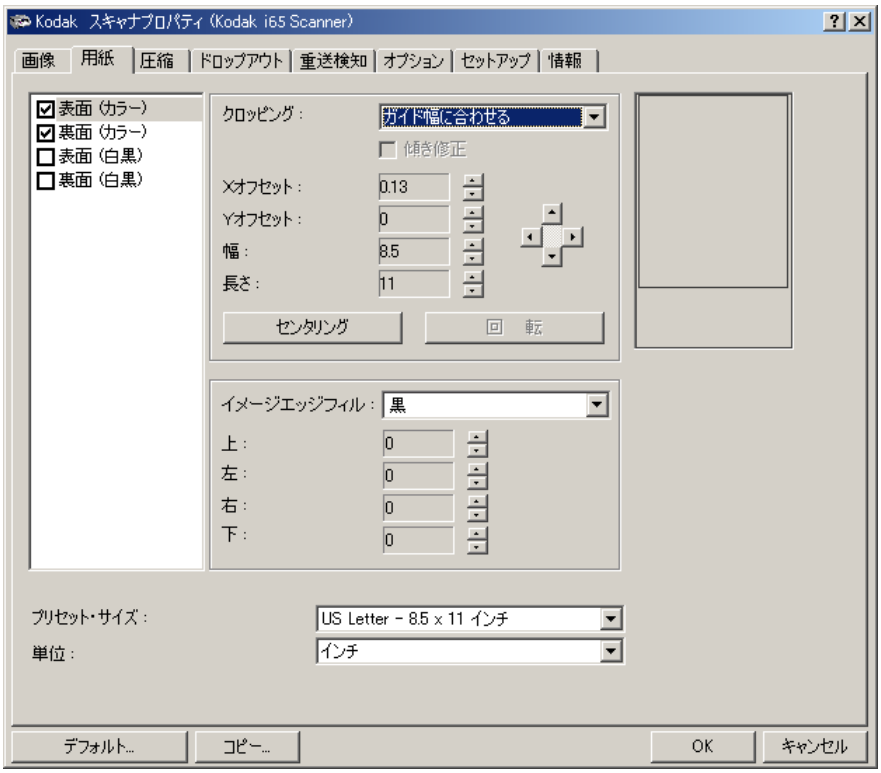
[Convert Color to Grayscale]（カラーをグレースケールへ変換）- キャプチャされた画像を 24 ビットカラーではなく 8 ビットグレースケールにしたいときにこのオプションを有効にします。

[Paper Source]（用紙ソース）- 次のオプションを提供します。

- [ADF]：連続送りモードでスキャナを使用するときにこのオプションを選択します。
- フラットベッド：厚い原稿や製本された原稿（書籍）など自動原稿フィーダを使用してスキャンできない原稿のスキャンにフラットベッドを使用するときにこのオプションを選択します。
- [ADF/Flatbed]（ADF/ フラットベッド）：このオプションを選択し、原稿が ADF にない場合、スキャナは自動的にフラットベッドを使用します。

[Paper]（ペーパー）タブ

[Paper]（ペーパー）タブを使用して、画像出力に関連する値（クロップ値、回転、用紙サイズおよび測定単位など）を定義できます。



[Camera]（カメラ）選択ボックス - 個別に画像処理値を定義できる画像の利用可能な面をリスト表示します。

右側のウィンドウには、変更するクロップ領域が表示されます。クロップ領域は、値が変更されるにつれ変化します。

クロップ値

クロップにより、スキャンされる原稿の一部をキャプチャできます。クロップオプションは、カラー／グレースケールおよび白黒画像で個別に使用でき、表面および裏面にも個別に使用できます。しかし、同時出力スキャン用には、カラー／グレースケールおよび白黒のクロップは面ごとに同じである必要があります。

- i55 スキャナでは、原稿ごとに 1 つのクロップオプションを割り当てることができます。
- i65 スキャナでは、原稿ごとに 2 つのクロップオプションを割り当てることができます。

[Cropping]（クロッピング）- 次のいずれかのオプションを選択します。

- [Automatic]（自動）：異なる原稿サイズに対してクロップウィンドウを画像の縁に合わせてダイナミックに調整します。異なるサイズの原稿の集まりに対してこのオプションを使用します。
- [Aggressive]（積極的）：このオプションを選択すると、画像の縁に残る白／グレー境界線が除去されます。[Aggressive]（自動－高画質）クロップを使用するとき、原稿周囲の画像データが失われる可能性があります。
- [Relative to Document]（原稿に対して相対的）（ゾーン処理）：（同一サイズの複数ページの原稿に使用）- ゾーンプロセッシングは、原稿の左上コーナーに対応して配置される浮動固定クロップウィンドウ（ゾーン）です。このウィンドウを使用して、カラー／グレースケールまたは白黒形式のいずれかでスキャンされる原稿上の領域を選択できます （白黒およびカラー／グレースケールの両方に対して個別ウィンドウを定義できます）。パラメータは、イメージの表面と裏面それぞれに選択できます。

  このオプションは、カラー／グレースケールまたは白黒を別個に保存する領域の自動クロッピングと組み合わせて使用できます。このオプションは、一定の領域に写真、署名、型押しまたは印章が現れるアプリケーションで役立ちます（少量の部分をカラー／グレースケールとし、他の大半の部分を白黒にするような場合）。

- [Fixed to Transport]（トランスポートに対して固定）（同じサイズの原稿の集まりに使用）: イメージングする領域またはゾーンを定義できます。このオプションを選択した場合、x および y オフセット値、幅および長さを入力します。フィールドへ必要な値を入力するか、矢印キーを使用して必要な領域を定義することができます。[Display]（表示）ウィンドウは、値を変更するにつれて画像配置を表示します。

[Fixed to Transport]（トランスポートに対して固定）または [Relative to Document]（原稿に対して相対的）を選択したときのみ次のオプションを利用できます。

  - [X-Offset]（X オフセット）- スキャナの左端からスキャン用領域の左エッジまでの距離。
  - [Y-Offset]（Y オフセット）- 原稿の上端からスキャン用領域の上端までの距離。
  - [Width]（幅）- スキャン用領域の幅。
  - [Length]（長さ）- スキャン用領域の長さ。
  - [Center Frame]（中心フレーム）- 選択された原稿サイズに基づき中心送り用の x オフセットを自動的に計算します。
  - [Rotate Frame]（フレーム回転）- 選択された原稿サイズの送り方向（横または縦）に基づき、オフセット値を自動的に計算します。

注記 :

- PC に十分なメモリが搭載されている場合、35.56cm ～ 86cm の原稿をスキャンできます（「システム要件」を参照してください）。
- フラットベッドモードの [Automatic]（自動）および [Relative to Document]（原稿に対して相対的）のクロップで、多くの場合良好な画像が得られます。大判の雑誌や書籍、その他の厚い原稿を載せるためにスキャナカバーを取り外した場合、またはフラットベッドのガラスが汚れた場合、[Automatic]（自動）で所望のクロップ性能が得られないことがあります。このような場合には、[Image Edge Fill]（画像エッジ塗りつぶし）オプションを使用するか、[Fixed]（固定）クロップモードでスキャンし、フラットベッドと原稿の位置合わせを念入りに行うことで、所望の結果が得られることがあります。

[Automatic Deskew]（傾き修正）- このオプションを選択すると、原稿先端の± 0.3 度以内の傾きが自動的に修正されます。[Automatic]（自動）クロップを選択した場合のみ、このオプションは利用可能です。

[Image Edge Fill]（画像エッジ塗りつぶし）- 他のすべての画像処理オプションが適用された後、（選択に応じて）[Black]（黒）または [White]（白）で領域をカバーすることによりスキャンされた画像のエッジを塗りつぶします。スキャンされた画像の塗りつぶす各側から [Top]（上部）、[Left]（左）、[Right]（右）または [Bottom]（下部）領域での値を選択します。

注： このオプションを使用するとき、保持したい画像データを塗りつぶす恐れがあるので大きすぎる値を入力しないよう注意してください。

追加用紙選択

[Paper]（ペーパー）タブを使用して適用できるクロップ値に加えて、次のオプションが利用可能です。

[Preset Front/Rear Size]（事前設定表面／裏面サイズ）- スキャナを初めて選択すると、デフォルトの用紙サイズが設定されます。ドロップダウンリストボックスを使用して、異なる用紙サイズを選択できます。

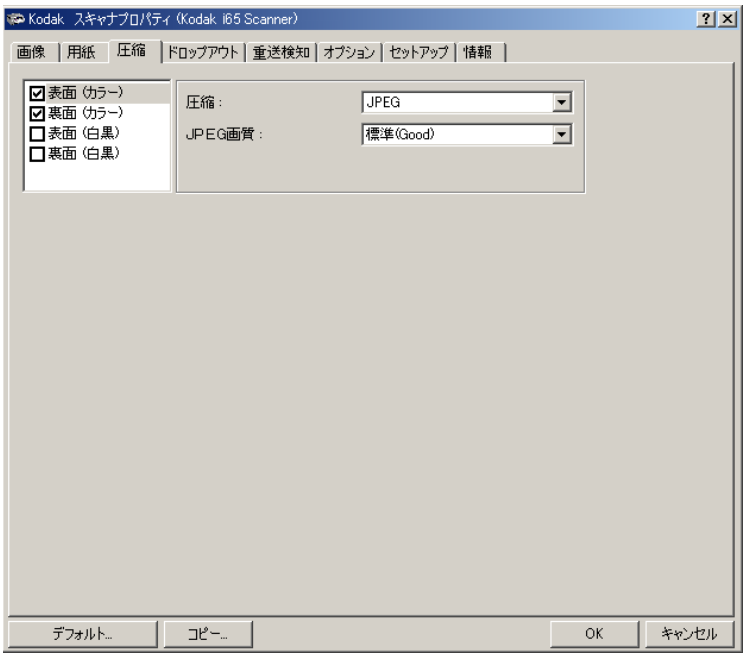
[Units]（単位）- 一次測定システムを定義します。インチ、cm、パイカ、ポイント、ポイントの 20 分の 1 およびピクセルが利用可能です。

[Compression]（圧縮）タブ

圧縮では、合計サイズを減らすためファイルを圧縮します。白黒画像は、主に TIFF ファイルで使用される Group IV と呼ばれる CCITT 規格を使用して圧縮されます。カラーおよびグレースケールの画像は、主に JPEG 方式で圧縮されます。

TIFF（Tagged Image File Format: タグ付き画像ファイル形式）は、白黒画像用に一般的に使用されているファイル形式規格です。この形式は、画像ファイルサイズを減らすため CCITT Group IV 圧縮規格で主に使用されています。カラーおよびグレースケールの画像もこの形式で保存できますが、圧縮されないないことが多く、サイズがきわめて大きくなります。[Compression]（圧縮）タブを使用して、圧縮設定を選択します。

JPEG（Joint Photographic Editor Group：ジョイント写真エディタグループ）。このグループは策定され、カラーおよびグレースケール画像用のファイル圧縮規格にその名前が使用されており、この規格はスキャナ、デジタルカメラおよびソフトウェアアプリケーションにより広範に使用されています。Microsoft Windows ベースのシステムでは、拡張子 .jpg を持つファイルは通常この規格を使用して圧縮されています。



[Camera Selection]（カメラ選択）ボックス - 個別に画像処理値を定義できる画像の各面（[Front Color]（表面カラー）、[Rear Color]（裏面カラー）など）をリスト表示します。

[Compression]（圧縮）- i55/i65 スキャナは、画像が両面であるか片面であるかに関係なく、さまざまなサポートされている形式および解像度で白黒、グレースケールおよびカラーの画像を出力するよう設定できます。これらのオプションは、スキャナのタイプに応じて異なります。

白黒スキャンの場合、次の圧縮が利用可能です。

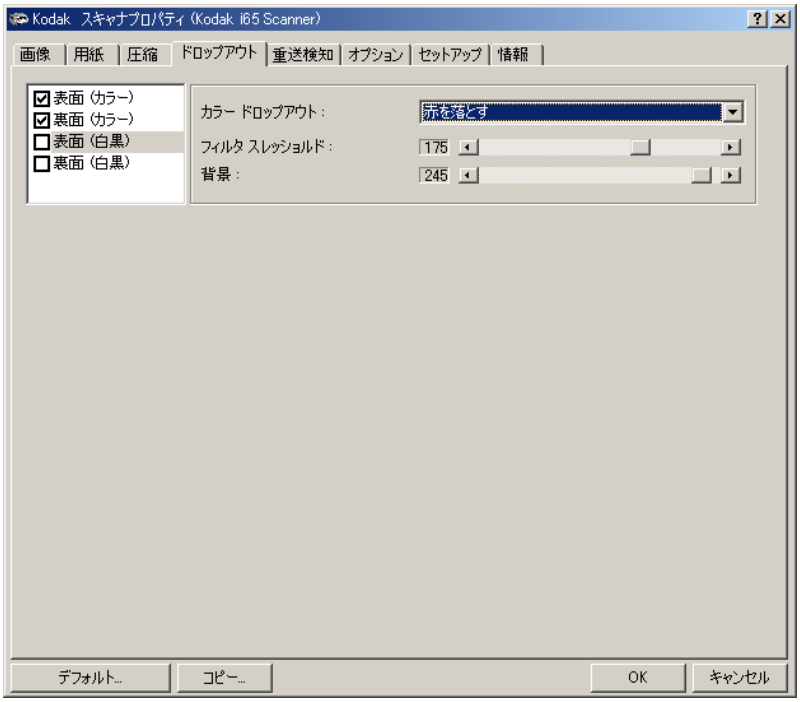
- CCITT Group 4 TIFF
- （なし）未圧縮 TIFF

次のカラー／グレースケール圧縮オプションが利用可能です。

- JPEG - JPEG 圧縮は、[Draft]（ドラフト）、[Good]（標準）、[Better]（高）、[Best]（最高）、[Superior]（高品質）の JPEG 品質を提供します。
  - [Draft]（ドラフト）：画像品質はドラフトだが、ファイルサイズは最小
  - [Good]（標準）：画像品質は標準だが、ファイルサイズはより大きい
  - [Better]（高）：画像品質は良いが、ファイルサイズはより大きい
  - [Best]（最高）：画像は高品質だが、ファイルサイズはより大きい
  - [Superior]（高品質）：画像品質は最高だが、ファイルサイズは最大
- （なし）は未圧縮ビットマップを生成します。

[Dropout]（ドロップアウト）タブ

OCR（Optical Character Recognition: 光学文字認識）および ICR（Intelligent Character Recognition: インテリジェント文字認識）テクノロジーにより原稿管理システムが書式のラインおよびボックスの干渉なしに適切なデータを読み取ることができるよう、Electronic Color Dropout（電子カラードロップアウト）は書式のバックグラウンドを除去するため使用されます。i55/i65 スキャナは、赤、緑または青をドロップアウトできます。[Dropout]（ドロップアウト）タブを使用して、必要な出力カラーを選択し、フィルタしきい値およびバックグラウンドを変更することができます。



[Camera Selection]（カメラ選択）ボックス - 電子カラードロップアウトは、白黒およびグレースケールの画像に対してのみ利用可能です。

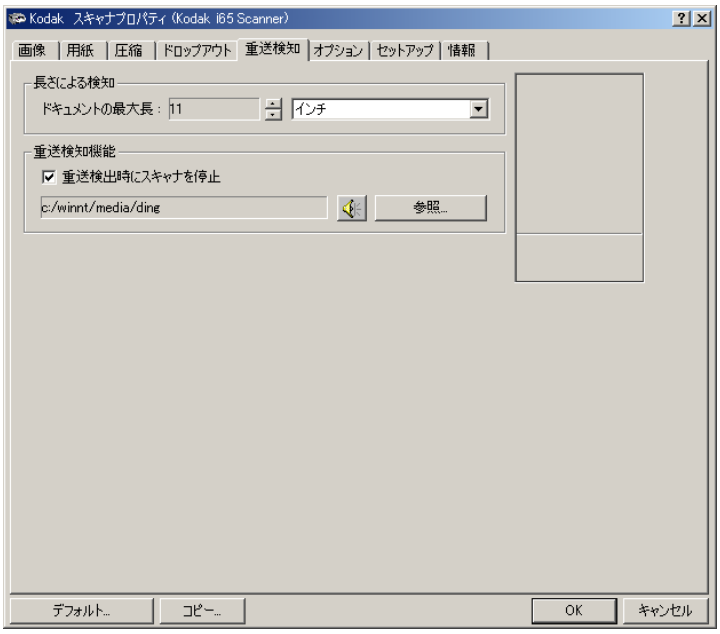
[Color Dropout]（カラードロップアウト）- 次の通り除去したいカラーを選択します。（なし）、[Remove Red]（赤の除去）、[Remove Green]（緑の除去）、[Remove Blue]（青の除去）

[Filter Threshold]（フィルタしきい値）- ドロップアウトされるカラーの識別に使用される値。この値はカラー領域に適用されます。入力した値より大きな [Red/Green/Blue]（赤／緑／青）コンポーネントを持つカラーはドロップされます。この設定は、選択されたカラーのドロップアウトされる量を決定します。値が小さいと選択されたカラーが多く残され、値が大きいと選択されたカラーの多くがドロップアウトされます。

[Background]（バックグラウンド）- この値は、除去するカラーがグレースケール（事前設定しきい値）画像で置き換えられます。したがって、このピクセルがバックグラウンドカラーになるため、この値は [Imaging]（イメージング）タブ上で選択されたしきい値よりも高く設定する必要があります。たとえば、緑のフォームで白い原稿をスキャンする場合に 127 の白黒しきい値を選択したならば、置き換えられるピクセルがドロップアウトされた画像で白になるよう、127 より大きな電子カラードロップアウトバックグラウンド値を選択する必要があります。

[Multifeed]（マルチフィード）タブ

[Multi-feed Detection]（マルチフィード）は、重なってフィーダを通る原稿を検出することにより、原稿処理に役立ちます。



[Length Detection]（長さ検出）- 重送検出により、スキャンされる原稿の最小長さを選択します。[Display]（表示）ウィンドウは、値の変更に従って原稿のサイズを表示します。この値をインチ、cm、パイカ、ポイント、ポイントの 20 分の 1 またはピクセルで表示することを選択できます。値が 0 の場合、長さ検出は行いません。同じサイズの原稿をスキャンするときに、長さ検出は最もうまく使用されます。

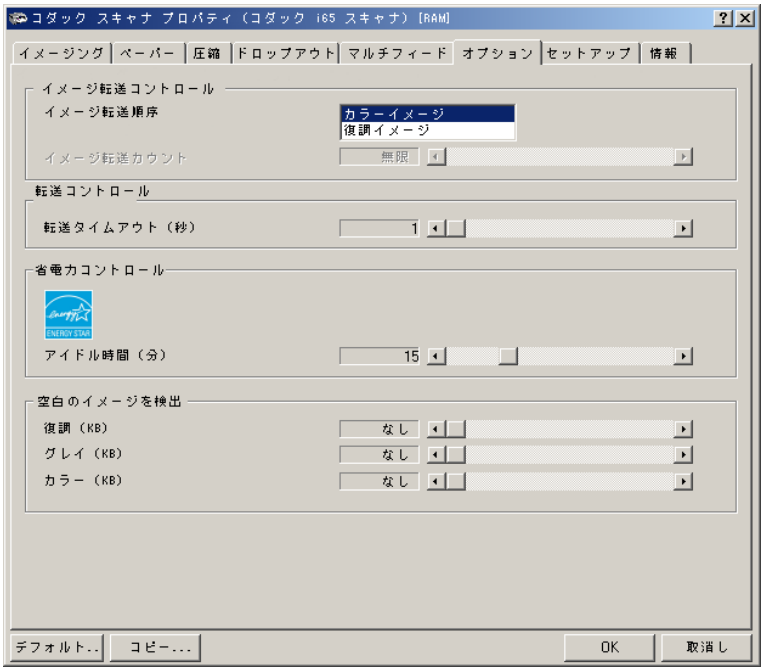
[Multifeed Stops Scanning]（重送によりスキャンを停止）- このオプションを選択していない場合、スキャナは状態を記録しますが、動作は続けます。重送警告を行うために PC が発するサウンドを選択できます。

サウンドを選択する方法

- [Browse]（参照）ボタンをクリックして目的の .wav ファイルを選択します。

[Options]（オプション）タブ

[Options]（オプション）タブを使用して、[Image Transfer control]（イメージ転送コントロール）および [Transport control]（転送コントロール）を設定できます。



[Image Transfer Order]（イメージ転送順序）- いずれかの面に同時出力スキャン（白黒およびカラー／グレースケール）を使用する場合、このオプションでスキャナが画像データを返す順序をコントロールします。たとえば、カラーおよび白黒をスキャンする場合に [Bi-tonal Image]（白黒画像）を選択したならば、スキャナは白黒表面画像を生成し、その後表面カラー画像を生成します。

[Transport Timeout]（転送タイムアウト）- 転送タイムアウト値を設定できます。この値は、転送タイムアウト動作を行う前に、最後の原稿の転送開始後スキャナが待機する時間です。待機時間の設定を 1 ～ 30 秒の範囲で指定できます。

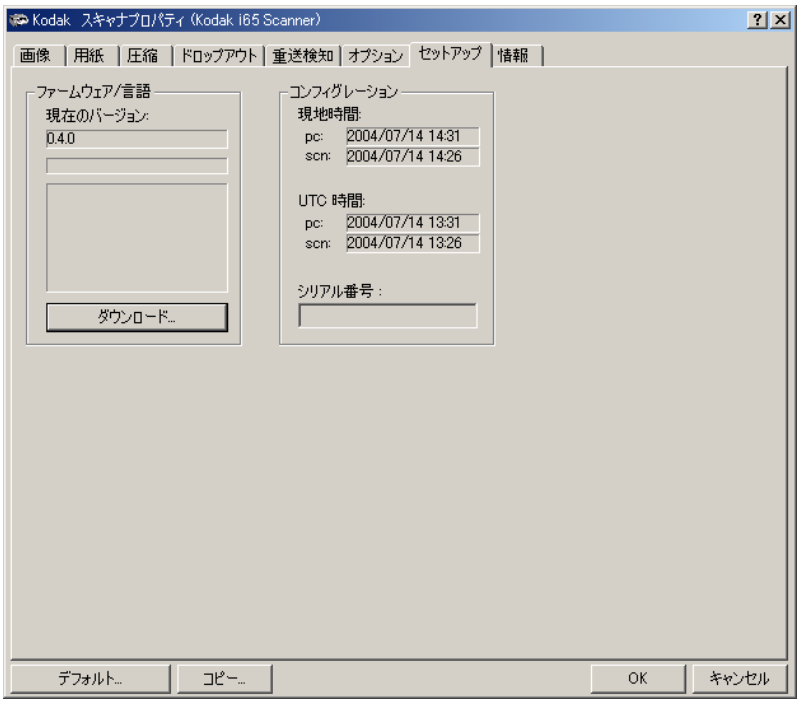
[Energy Saving Features of Scanner]（省電力コントロール）- スキャナが最後に使用された後、アイドル状態になるまでの時間を設定できます。（なし）および 5 ～ 60 分が選択できます。デフォルト値は 15 分です。

[Blank Image Detection]（空白のイメージを検出）- スライダバーで画像サイズ（KB）を指定します。このサイズ未満の画像は空白と見なされます。選択したサイズ未満の画像は作成されません。このオプションを使用する場合、1 つの画像出力タイプだけでなく、個々の画像出力タイプ（[Bi-tonal]（復調）、[Grayscale]（グレイ）、および [Color]（カラー））について、空白の画像サイズを指定する必要があります。このオプションのデフォルト値は [None]（なし）で、すべての画像が保持されます。

[Setup]（セットアップ）タブ

[Setup]（セットアップ）タブを使用して、ファームウェアのダウンロードおよびスキャナクロックを設定できます。[Setup]（セットアップ）タブは、TWAIN データソースを通じて [Scan Validation Tool]（スキャン検証ツール）を使用するときのみ利用可能です。

[Package]（パッケージ）- スキャナファームウェアがコダック i55/i65 スキャナを実行します。[Current]（現行）フィールドに表示される値は、スキャナが現在使用しているファームウェアのバージョンです。コダックは、定期的にファームウェアの更新バージョンをリリースしており、コダックのサービスおよびサポート部門を通じて入手可能です。[Download]（ダウンロード）を選択すると、[Select Scanner Firmware]（スキャナファームウェアの選択）ダイアログボックスが表示されます。



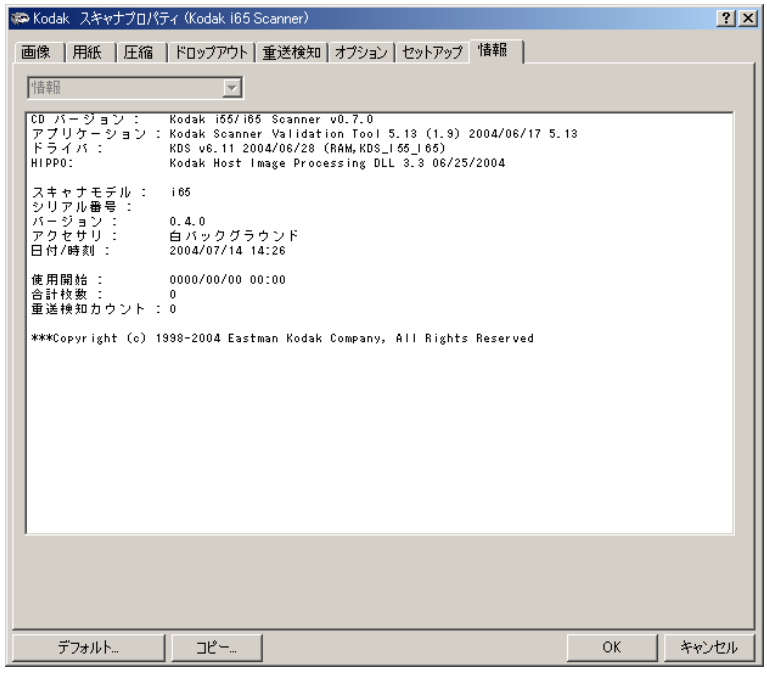
[Download…]（ダウンロード…）- このオプションを使用して、ファームウェアの最新バージョンをスキャナへダウンロードします。

[Configure]（設定）- ローカル時刻、UTC（Universal Time Clock: ユニバーサル時間クロック）およびスキャナのシリアル番号を表示します。

[Lock camera]（カメラのロック）- このボタンをクリックして、スキャナのフラットベッドカメラをロックします。これは通常、フラットベッドカメラの損傷を防ぐ目的で、スキャナの輸送前に行います。詳細および手順については、第 2 章の「スキャナのロック」を参照してください。

[Info]（情報）タブ

[Info]（情報）タブは、スキャナに適した情報を表示します。



ISIS ドライバの使用

ISIS ドライバは、スキャナと通信を行うソフトウェアです。このドライバは、Pixel Translations, Inc. により製造と保守管理が行われており、コダックによりスキャナとともに提供されます。多くのスキャン用アプリケーションは ISIS ドライバをサポートしており、このドライバを使用してそれらのアプリケーションと通信することができます。

ここでは、[ISIS] ダイアログボックス上のオプションおよびこれらのオプションの設定方法について説明します。

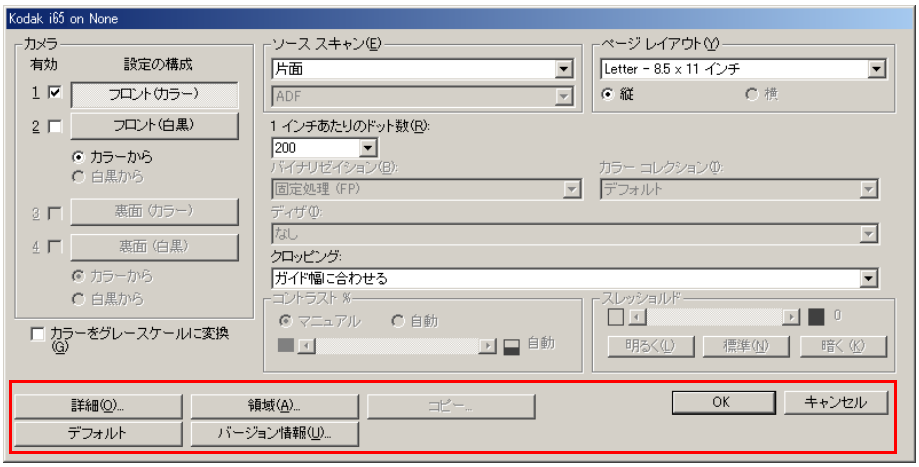
このマニュアルでは、表示されるすべてのダイアログボックスはコダック i65 スキャナ上で利用可能な機能を想定しています。コダック i55 スキャナの場合、すべてのオプションは片面スキャンのみに限られています。

[Scanner Settings]（スキャナ設定）ダイアログボックス

[Scanner Settings]（スキャナ設定）ダイアログボックスの表示については、この章の前の部分にある「[Scan Validation Tool]（スキャン検証ツール）の起動」を参照してください。

[Scanner Settings]（スキャナ設定）ダイアログボックス上のボタン

次に、ダイアログボックス下部にあるボタンについて説明します。



[More]（詳細）- [More Scanner Settings]（詳細スキャナ設定）ダイアログボックスを表示します。このダイアログボックスは、コダック i55/i65 スキャナ専用の画像処理の追加設定を表示します。

[Area]（領域）- [Scan Area]（スキャン領域）ダイアログボックスを表示します。

[Copy]（コピー）- この機能は、両面モードでスキャナを使用するときにしか利用できません。[Copy]（コピー）ボタンは、片面でカラー、グレースケールまたはバイナリ画像設定を行い、それらの設定をもう一方の面へ転送する便利な方法を提供します。たとえば、[Front Binary]（表面バイナリ）をハイライト表示させ、設定した場合、[Copy]（コピー）ボタンを使用して [Rear Binary]（裏面バイナリ）用にこれらの設定を複製できます。

[About]（ドライババージョン情報等）- [About]（ドライババージョン情報等）ダイアログボックスを表示します。[About]（ドライババージョン情報等）ダイアログボックスは、ドライババージョン番号、認証ステータスおよびこのドライバの開発に使用した QuickDriver のバージョンなどの詳細情報を表示します。

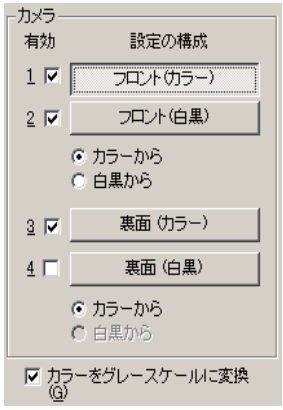
[Defaults]（デフォルト）- [Defaults]（デフォルト）を選択すると、値は工場設定値へリセットされます。

[OK] - すべてのダイアログボックス上で設定された値を保存します。

[Cancel]（取消）- 変更を保存せずにダイアログボックスを閉じます。

カメラ設定領域

[Camera]（カメラ）領域での選択として、個別の画像処理値を定義できる画像の利用可能な面（フロントまたは裏面）が表示されます。 オプションとして、[Front Color]（フロント (カラー))、[Front Binary]（フロント (白黒))、[Back Color]（裏面 (カラー) ）および [Back Binary]（裏面 (白黒) ）があります。[Camera]（カメラ）選択の詳細については、前述されている第 4 章の「カメラの選択」を参照してください。



コダック i65 スキャナでは、スキャンされる原稿の各面用に別個のカメラがあります。コダックスキャナドライバを使用して、カメラ設定を個別にコントロールできます。設定によってはバイナリ（白黒）画像のみに適用されるものと、カラー／グレースケール画像に適用されるものがあります。適切なカメラと画像タイプを選択することにより、スキャナの出力をコントロールできます。

設定プロセスの開始時に、ガイドとして次の手順を使用します。

1. キャプチャしたい画像を確認します（カメラ設定を有効にします）。
2. 画像の転送順序を選択します（[Color First]（カラーが最初）または [Binary First]（バイナリが最初））。
3. 各画像をハイライト表示させて設定します（[Configure]（設定））。

[Enable camera settings]（有効）- 目的のチェックボックスを選択し、必要に応じて [Front Color]（フロント (カラー))、[Front Binary]（フロント (白黒))、[Back Color]（裏面 (カラー) ）または [Back Binary]（裏面 (白黒) ）の設定を有効にします。これは、キャプチャし、ホスト PC へ転送したい画像を指定します。（裏面の画像だけをキャプチャすることもできます。）対象のチェックボックスをオンにすると、選択が有効になります。

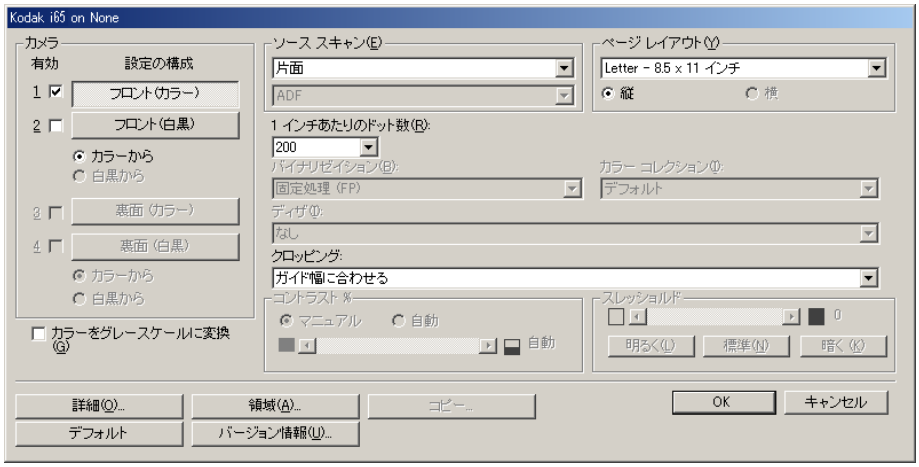
[Color First/Binary First]（カラーが最初／バイナリが最初）- [Color First]（カラーが最初）または [Binary First]（バイナリが最初）ラジオボタンを選択することにより、転送順序を定義します。これは、同時出力スキャンを使用するときにどの画像がホスト PC へ最初に転送されるかを決定します。たとえば、表面カラーおよび表面バイナリをスキャンする場合に [Binary First]（バイナリが最初）を選択したならば、スキャナは表面バイナリ画像を返し、その後表面カラー画像を返します。

[Configure]（設定の構成）- 設定したい画像をハイライト表示させます。画像を選択すると、他のオプションは [Scanner Settings]（スキャナ設定）ダイアログボックス上で利用可能になります。これらのオプションが利用可能かどうかは、ユーザーが行った選択に応じて決まります。

[Convert Color to Grayscale]（カラーをグレースケールに変換）- このオプションは、カラーカメラを設定するときのみ利用可能です。このオプションを選択すると、スキャナはカラー画像データをグレースケールへ変換した後、ホスト PC に転送します。

画像処理の設定

このダイアログボックス上の他のオプションを使用して、スキャナへ適用できる画像処理値を定義できます。



[Scan Source]（スキャンのソース）- ホスト PC は、原稿の片面または両面のいずれかを定義するかについての情報をスキャナへ提供します。[Simplex]（片面）原稿の片側（フロント）のみがスキャンされることを指示します。[Simplex - Back]（片面 - 裏面）原稿の片面（裏面）のみがスキャンされることを指示します。[Duplex]（両面）原稿の両面がスキャンされることを指示します。

次のいずれかのオプションも選択します。

- [ADF]：連続送りモードでスキャナを使用するときにこのオプションを選択します。
- フラットベッド：厚い原稿や製本された原稿（書籍）など自動原稿フィーダを使用してスキャンできない原稿のスキャンにフラットベッドを使用するときにこのオプションを選択します。
- [ADF/Flatbed]（ADF/ フラットベッド）：このオプションを選択し、原稿が ADF にない場合、スキャナは自動的にフラットベッドを使用します。

[Dots per inch]（1 インチあたりのドット数：dpi）（解像度）- スキャン用解像度を指示します。これは、主としてスキャンされた画像の品質を決定します。解像度が大きいほど、複製は良好になります。しかし、高い解像度でのスキャンでは、スキャン時間とファイルサイズも増加します。

ドロップダウンリストから解像度値を選択します。デフォルト値は 200dpi です。利用可能な解像度は、75、100、150、200、240、300、400 および 600dpi。

[Cropping]（クロッピング）- スキャンする画像の一部をキャプチャできます。すべてのクロッピングオプションは、カラー／グレースケールおよびバイナリ画像で使用できます。[Front]（表面）および [Rear]（裏面）クロップは独立していますが、同時出力スキャンについては、カラー／グレースケール およびバイナリクロップは面ごとに同じである必要があります。画像ごとに1つのクロッピングオプションのみを割り当てることができます。次のいずれかのオプションを選択します。

- [Automatic]（自動）: 異なる原稿サイズに対してクロップウィンドウを画像の縁に合わせてダイナミックに調整します。異なるサイズの原稿の集まりに対してこのオプションを使用します。
- [Aggressive]（積極的）: このオプションを選択すると、画像の縁に残る黒い境界線が除去されます。このとき、原稿周囲の画像データが失われる可能性があります。
- [Fixed to Transport]（トランスポートに対して固定）（同じサイズの原稿の集まりに使用）: イメージングする領域またはゾーンを定義できます。[Fixed to Transport]（トランスポートに対して固定）クロップは、用紙サイズとページレイアウトと組み合わせて使用され、原稿を中央揃えで給紙することが前提となります。中央揃えによる給紙を使用していない場合、[Area]（領域）ボタンを選択してスキャン領域を定義する必要があります。この章で後述する「スキャン領域の定義」を参照してください。
- [Relative to Document]（原稿に対して相対的）（ゾーン処理）: （同一サイズの複数ページの原稿に使用）- ゾーンプロセッシングは、原稿の左上コーナーに対応して配置される浮動固定クロップウィンドウ（ゾーン）です。このウィンドウを使用して、カラー／グレースケールまたは白黒形式のいずれかでスキャンされる原稿上の領域を選択できます（白黒およびカラー／グレースケールの両方に対して個別ウィンドウを定義できます）。パラメータは、イメージの表面と裏面それぞれに選択できます。

  このオプションは、カラー／グレースケールまたは白黒を別個に保存する領域の自動クロッピングと組み合わせて使用できます。このオプションは、一定の領域に写真、署名、または印章が現れるアプリケーションで役立ちます（少量の部分をカラー／グレースケールとし、他の大半の部分を白黒にするような場合）。

  ゾーンを定義するには、[Area]（領域）を選択して [Scan Area]（スキャン領域）ダイアログボックスを表示します。詳細については、この章で後述する「スキャン領域の定義」を参照してください。

注記 :

- PC に十分なメモリが搭載されている場合、35.56cm ～ 86cm の原稿をスキャンできます（メモリの要件については、「システム要件」を参照してください）。
- フラットベッドモードの [Automatic]（自動）および [Relative to Document]（原稿に対して相対的）のクロップで、多くの場合良好な画像が得られます。大判の雑誌や書籍、その他の厚い原稿を載せるためにスキャナカバーを取り外した場合、またはフラットベッドのガラスが汚れた場合、[Automatic]（自動）で所望のクロップ性能が得られないことがあります。このような場合には、[Image Edge Fill]（画像エッジ塗りつぶし）オプションを使用するか、[Fixed]（固定）クロッピングモードでスキャンし、フラットベッドと原稿の位置合わせを念入りに行うことで、所望の結果が得られることがあります。

ページサイズとレイアウト

スキャナを初めて選択すると、デフォルトの用紙サイズが設定されます。ドロップダウンリストボックスを使用して、異なる用紙サイズを選択できます。

注 : [Page Size]（ページサイズ）および [Page Layout]（ページレイアウト）の選択項目も [Scan Area]（スキャン領域）ダイアログボックスに表示されます。[Scanner Settings]（スキャナ設定）ダイアログボックスで変更を行った場合、同じ選択項目が [Scan Area]（スキャン領域）ダイアログボックスに表示され、逆の場合も同様です。

[Page Layout]（ページレイアウト）領域を使用して、[Portrait]（縦）または [Landscape]（横）を選択できます。

- [Portrait]（縦）では、従来のポートレート形式での画像方向を表示します。この場合、高さが幅よりも大きいです。
- [Landscape]（横）では、従来のランドスケープ形式での画像方向を表示します。この場合、幅が高さよりも大きいです。

[Binarization]（バイナリゼイション）は、グレースケールまたはカラー画像を白黒画像に変換するプロセスです。この変換を行うにはいくつかの方法があります。次に、バイナリ画像についてのみ説明します。

次の 2 値化オプションはグレースケールのスキャンずみ画像に適用され、白黒電子画像を出力します。バックグラウンドカラーまたはシェーディングが異なっていても、さらにフォアグラウンド情報がカラー品質と暗さで異なっていても、バックグラウンド情報からフォアグラウンド情報を区別できるところに特長があります。同じ画像処理パラメータを使用してさまざまなタイプの原稿をスキャンでき、優れたスキャンずみ画像を得ることができます。

利用可能な 2 値化オプションは次の通りです。

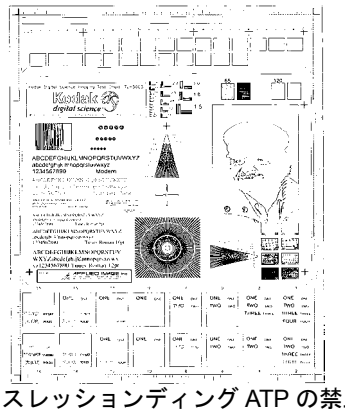
- [iThresholding]（i スレッショルディング）: [iThresholding]（i スレッショルディング）を選択することにより、スキャナは各原稿をダイナミックに評価して、最高品質の画像を生成するための最適なしきい値を決定できます。その結果、単一設定を使用し、原稿ソートの必要性なしに、さまざまな品質（つまり、薄いテキスト、陰のあるバックグラウンド、カラーバックグラウンドなど）の混合原稿セットのスキャンができます。

  [iThresholding]（i スレッションディング）を使用するとき、[Contrast]（コントラスト）だけが使用できます。

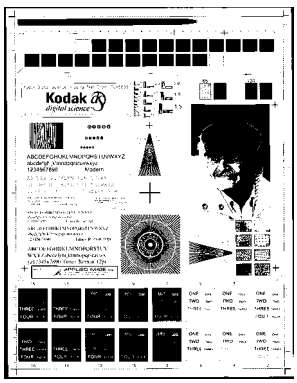
- [Fixed Processing]（固定処理 ：FP）: 白黒および他の高コントラスト原稿に使用します。黒白遷移を決定するため、単一レベルが設定されます。しきい値は、密度範囲全体にわたってプログラミング可能です。 固定スレッショルディングでは、[Contrast]（コントラスト）は 0 に設定されます。[Fixed Processing]（固定処理 (FP)）を選択した場合、[Contrast]（コントラスト）は利用できません。

- [Adaptive Thresholding]（適応スレッショルディング：ATP）: [Adaptive Threshold Processor]（適応しきい値プロセッサ）は画像内のフォアグラウンド情報（テキスト、グラフィックス、ラインなど）をバックグラウンド情報（つまり、白または白でない用紙バックグラウンド）から区別します。

  [Adaptive Thresholding]（適応スレッションディング）を使用するとき、[Threshold]（しきい値）および [Contrast]（コントラスト）を調整できます。コントラスト値の範囲は 1 ～ 100 です。コントラスト値が 100 の場合には、完全なアダプティブスレッショルドが前提となります。



固定スレッションディング ATP の禁止



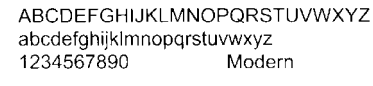
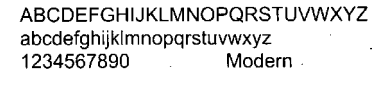
ATP の許可

[Dithering]（ディザ）- グレーレベルのシミュレートに使用する方法。このオプションを選択すると、[Dithering]（ディザ）オプションが利用可能です。

- [64-Level Bayer Dither]（64 レベルバイエルディザー、[64-Level 45 Degree Clustered Dot Screen]（64 レベル 45 度クラスタ化ドット画面）および [64-Level Dispersed Dot Screen]（64 レベル分散ドット画面）。これらは、グレーをエミュレートする代替スクリーニングオプションを表しています。

[Contrast %]（コントラスト %）- 白と黒の間の差を調整することにより画像コントラストを設定します。したがって、画像がシャープまたはソフトになります。コントラストは、バイナリ画像に対してのみ利用可能です。

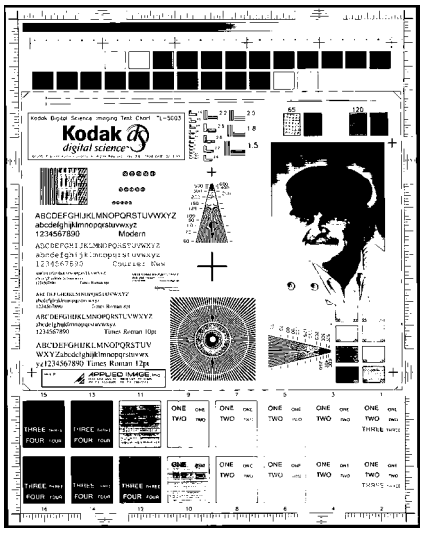
低コントラスト設定では、黒と白の間の差は小さいので、画像はソフトになります。高コントラスト設定では、黒と白の間の差は大きいので、画像ははっきりとします。1 ～ 100 のコントラスト値を選択します。デフォルトは 50 です。

コントラスト 1	
コントラスト 60	
コントラスト 100	

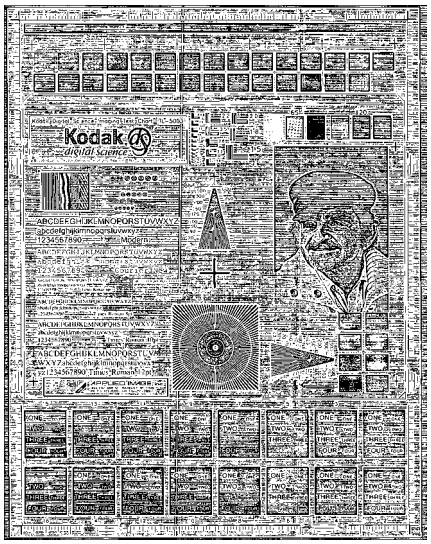
[Manual]（手動）- バイナリ画像では必ず選択されます。必要なコントラスト設定を行うため、[Contrast]（コントラスト）スライドバーを左右にドラッグすることにより、[Contrast]（コントラスト）設定を調整します。原稿をスキャンしてコントラストを確認します。

[Threshold]（スレッショルド）- しきい値はグレースケール画像をバイナリ（1 ビット／ピクセル）画像に変換するため使用します。しきい値は、0 ～ 255 の整数です。デフォルトは 90 です。しきい値が小さいと軽い画像が生成され、バックグラウンドおよび微妙で不要な情報を抑制できます。しきい値が大きいと、濃い画像が生成され、淡い画像でも取り込めます。

必要なしきい値設定を行うため、[Threshold]（スレッショルド）スライドバーを左右にドラッグすることにより、[Threshold]（スレッショルド）設定を調整します。原稿をスキャンしてしきい値を確認します。



200 dpi、スレッショルド 80、コントラスト 20

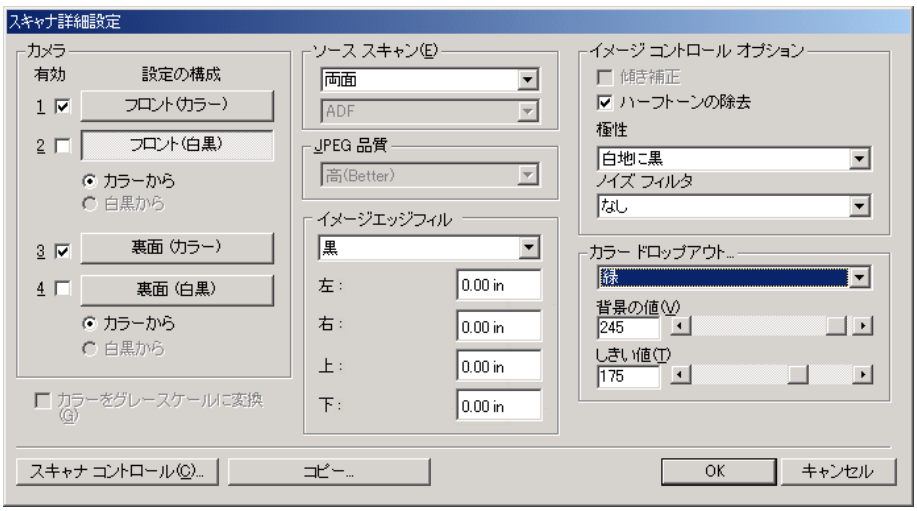


200 dpi、スレッショルド 80、コントラスト 100

[Lighten]（明るく）、[Normal]（標準）および [Darken]（暗く）を使用して、迅速な設定でしきい値を調整します。[Lighten]（明るく）= 72、[Normal]（標準）= 90 および [Darken]（暗く）= 128。

[More Scanner Settings]（詳細スキャナ設定）ダイアログボックス

[Scanner Settings]（スキャナ設定）ダイアログボックスで [More]（詳細）ボタンを選択すると、i55/i65 スキャナ専用の追加画像処理値が利用できます。



カメラ設定領域

[Camera]（カメラ）領域での選択として、個別の画像処理値を定義できる画像の利用可能な面（フロントまたは裏面）が表示されます。

設定プロセスの開始時に、ガイドとして次の手順を使用します。

1. キャプチャしたい画像を確認します（カメラ設定を有効にします）。
2. 画像の転送順序を選択します（[Color First]（カラーが最初）／ [Binary First]（バイナリが最初））。
3. 各画像をハイライト表示させて設定します（[Configure]（設定の構成））。

[Enable camera settings]（有効）- 目的のチェックボックスを選択し、必要に応じて [Front Color]（フロント (カラー ））、[Front Binary]（フロント (白黒 ））、[Back Color]（裏面 (カラー ））または [Back Binary]（裏面 (白黒 ））の設定を有効にします。これは、キャプチャし、ホスト PC へ転送したい画像を指定します。（裏面の画像だけをキャプチャすることもできます。）対象のボックスにチェックマークを入れることにより、選択を有効にできます。

[Color First/Binary First]（カラーが最初 / バイナリが最初）- [Color First]（カラーが最初）または [Binary First]（バイナリが最初）ラジオボタンを選択することにより、転送順序を定義します。これは、同時出力スキャンを使用するときにどの画像がホスト PC へ最初に転送されるかを決定します。たとえば、表面カラーおよび表面バイナリをスキャンする場合に [Binary First]（バイナリが最初）を選択したならば、スキャナは表面バイナリ画像を返し、その後表面カラー画像を返します。

[Configure]（設定の構成）- 設定したい画像をハイライト表示させます。画像を選択すると、他のオプションは [More Scanner Settings]（詳細スキャナ設定）ダイアログボックス上で利用可能になります。これらのオプションが利用可能かどうかは、ユーザーが行った選択に応じて決まります。

[Convert Color to Grayscale]（カラーをグレースケールに変換）- このオプションは、カラーカメラを設定するときのみ利用可能です。このオプションを選択すると、スキャナはカラー画像データをグレースケールへ変換した後、ホストに転送します。

[Scan Source]（スキャンのソース）- ホスト PC は、原稿の片面または両面のいずれかを定義するかについての情報をスキャナへ提供します。[Simplex]（片面）原稿の片側（フロント）のみがスキャンされることを指示します。[Simplex - Back]（片面 - 裏面）原稿の片面（裏面）のみがスキャンされることを指示します。[Duplex]（両面）は原稿の両面がスキャンされることを指示します。

JPEG（Joint Photographic Editor Group: ジョイント写真エディタグループ）[Quality]（品質）。このグループは策定され、カラーおよびグレースケール画像用のファイル圧縮規格にその名前が使用されており、この規格はスキャナ、デジタルカメラおよびソフトウェアアプリケーションにより広範に使用されています。Microsoft Windows ベースのシステムでは、拡張子 .jpg を持つファイルは通常この規格を使用して圧縮されています。JPEG - JPEG 圧縮は、[Draft]（ドラフト）、[Good]（標準）、[Better]（高）、[Best]（最高）、[Superior]（高品質）の JPEG 品質を提供します。

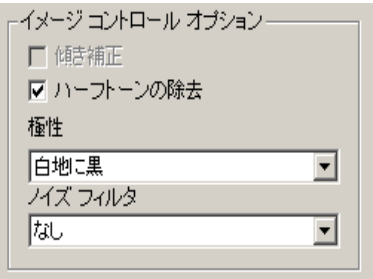
- [Draft]（ドラフト）- 画像品質はドラフトだが、ファイルサイズは最小
- [Good]（標準）- 画像品質は標準だが、ファイルサイズはより大きい
- [Better]（高）- 画像品質は高いが、ファイルサイズはより大きい
- [Best]（最高）- 画像は高品質だが、ファイルサイズはより大きい
- [Superior]（高品質）- 画像品質は最高だが、ファイルサイズは最大

[Image Edge Fill]（画像エッジ塗りつぶし）- 他のすべての画像処理オプションが適用された後、（選択に応じて）[Black]（黒）または [White]（白）で領域をカバーすることによりスキャンされた画像のエッジを塗りつぶします。スキャンされた画像の塗りつぶす各側から [Top]（上部）、[Left]（左）、[Right]（右）または [Bottom]（下部）領域での値を選択します。

- このオプションを使用するとき、保持したい画像データを塗りつぶす恐れがあるので大きすぎる値を入力しないよう注意してください。

[Image Control]（画像コントロール）オプション

次の [Image Control]（画像コントロール）オプションが利用可能です。



[Deskew]（傾き修正）- 原稿先端の± 0.3 度以内の傾きを自動的に修正するにはこのオプションをチェックします。傾き修正は、最大 45 度の傾きを検出し、200dpi で最大 24 度の角度または 300dpi で最大 10 度の傾き角度を修正できます。[Fixed to Transport]（トランスポートに対して固定）または [Relative to Document]（原稿に対して相対的）クロップを選択した場合、このオプションは利用できません。

注： データ損失を防止するため、画像パス内に原稿の 4 隅を収めます。

[Halftone Removal]（ハーフトーン除去）- は、ドットマトリクステキストを含む画像またはハーフトーンスクリーンを使用して陰のある、またはカラーのバックグラウンドに印刷された画像あるいはその両方の強調に使用されます。このフィルタは、ハーフトーンスクリーンによるノイズを効果的に排除します。このオプションは、バイナリ画像のみに適用されます。

[Polarity]（極性）- ホスト PC は、画像を標準極性または反転極性のどちらで保存するかを定義する情報をスキャナへ提供します。デフォルトの極性は白地に黒です。反転極性は黒地に白です。

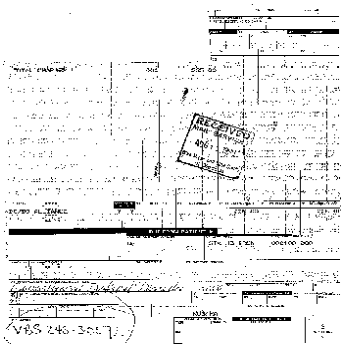
白地に黒の極性

黒地に白の極性

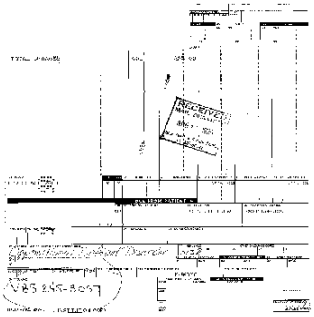
[Noise Filter]（ノイズフィルタ）- スキャンずみ画像のバックグラウンドに時々小さな点またはしみが現れます。これらのしみによりファイル圧縮サイズが増大され、これらのしみは通常画像情報を含んでいません。きわめて緻密な詳細（4 ポイントタイプでの "i" 上のドットなど）を含む原稿に対して [Noise Filter]（ノイズフィルタ）を使用すると、情報が失われる可能性があります。7 ポイントより小さなテキストの原稿をスキャンするとき、[Noise Filter]（ノイズフィルタ）を使用しないことをお勧めします。

[Noise Filter]（ノイズフィルタ）は、バイナリ画像のみに使用でき、表面と裏面で区別されます。[None]（なし）、[Lone Pixel]（単独ピクセル）または [Majority Rule]（多数決）を選択します。

- [Lone Pixel]（単独ピクセル）では、白で囲まれている単一の黒ピクセルを白へ変換するか、黒で囲まれている単一の白ピクセルを黒へ変換することにより、バイナリ画像上のランダムノイズを減らします。
- [Majority Rule]（多数決）では、マトリクス内の過半数の白または黒ピクセルに応じて、マトリクス内の中心ピクセル値が設定されます。



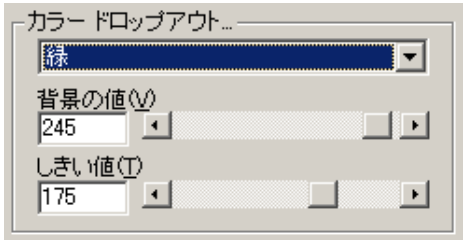
[No Noise Filter Used]
（ノイズフィルタ使用せず）



[Lone Pixel]（単独ピクセル）

[Color Dropout]（カラードロップアウト）オプション

OCR（Optical Character Recognition: 光学文字認識）および ICR（Intelligent Character Recognition: インテリジェント文字認識）テクノロジーにより原稿管理システムが自動的に書式のラインおよびボックスの干渉なしに適切なデータを読み取ることができるよう、Electronic Color Dropout（電子カラードロップアウト）は書式のバックグラウンドを除去するため使用されます。必要なドロップアウトカラーを選択し、しきい値とバックグラウンドを変更することができます。



電子カラードロップアウトは、バイナリおよびグレースケール画像に対してのみ利用可能です。

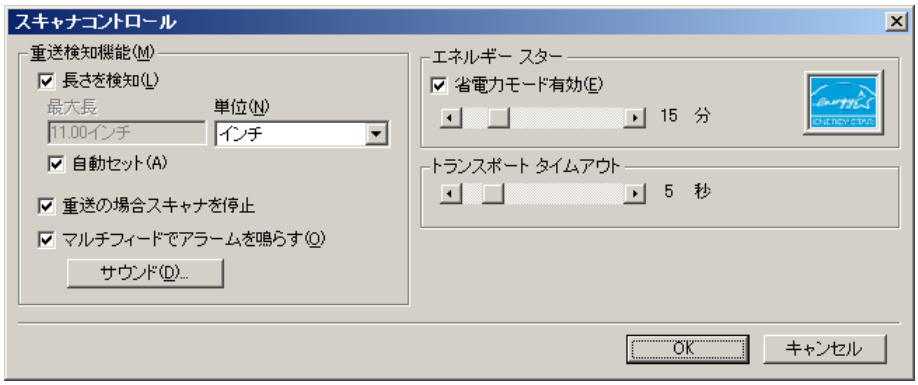
[Dropout Color]（ドロップアウトカラー）- i55/i65 スキャナは赤、緑または青をドロップアウトできます。[None]（なし）がデフォルトです。

[Background Value]（バックグラウンド値）- この値は、除去するカラーに対してグレースケール（事前設定しきい値）画像で置き換えられます。したがって、このピクセルがバックグラウンドカラーになるため、この値は [Scanner Settings]（スキャナ設定）タブ上で選択されたしきい値よりも高く設定する必要があります。デフォルト値は 245 です。たとえば、緑のフォームで白い原稿をスキャンする場合に 127 のバイナリしきい値を選択したならば、置き換えられるピクセルがドロップアウトされた画像で白になるよう、127 より大きな電子カラードロップアウトバックグラウンド値を選択する必要があります。

[Threshold value]（しきい値）- ドロップアウトされるカラーの識別に使用される値。この値はカラー領域に適用されます。入力した値より大きな [Red/Green/Blue]（赤／緑／青）コンポーネントを持つカラーはドロップされます。この設定は、選択されたカラーのドロップアウトされる量を決定します。値が小さいと選択されたカラーが多く残され、値が大きいと選択されたカラーの多くがドロップアウトされます。デフォルト値は 175 です。

[Scanner Control]（スキャナコントロール）ダイアログボックス

[More Scanner Settings]（詳細スキャナ設定）ダイアログボックス上の [Scanner Control]（スキャナコントロール）ボタンを選択すると、[Scanner Control]（スキャナコントロール）ダイアログボックスが表示されます。



このダイアログボックスを使用して、重送検出およびトランスポートコントロールを設定できます。このダイアログボックスでの設定は、画像品質に影響しません。

[OK] - ダイアログボックス上で設定された値を保存します。

[Cancel]（取消）- 変更を保存せずにダイアログボックスを閉じます。

[Multi-Feed Detection]（重送検知）オプション

[Length Detection]（長さ検出）- このオプションは有効または無効にできます。デフォルトは無効です。[Length Detection]（長さ検出）を有効にした場合、最大長さを入力します。これは、重送が検出される、スキャン原稿の最小長さを選択します。同じサイズの原稿のスキャン時に重送を調べるため、長さ検出を使用します。たとえば、縦方向モードで 8.5 x 11 インチ（A4）原稿をスキャンする場合、[Maximum Length]（最大長さ）フィールドに 28.57cm（11.25 インチ）を入力したい場合があります。

[Units]（単位）- 一次測定システムを定義します。ピクセル、インチおよび cm が利用可能です。

[Auto Set]（自動設定）- このオプションを有効にすると、現在選択されているページサイズより 1.27cm 大きな値へ最大長さ値が自動的に設定されます。

[Stop scanner on Multi-Feed]（重送検知によりスキャナを停止）- このオプションを有効にすると、重送が発生したときにスキャナは停止します。

[Sound Alarm on Multi-Feed]（多重送りに対して警告音を発生）- このオプションを有効にすると、重送が発生したときにスキャナは選択したサウンドで警告を行います。

[Sound]（サウンド）- このオプションを選択して、重送原稿について PC に警告させたいサウンドを選択します。

サウンドを選択する方法

1. [Sound]（サウンド）ボタンをクリックして、[Open]（開く）ダイアログボックスを表示します。
2. 目的の .wav ファイルを選択します。
3. ダイアログボックス上の [Open]（開く）をクリックすると、サウンドが保存されます。

スキャナのエネルギー節約機能

Energy Star を使用して、スキャナが最後に使用された後、アイドル状態（スリープモード）になるまでの時間を設定できます。 0 ～ 60 分が選択できます。

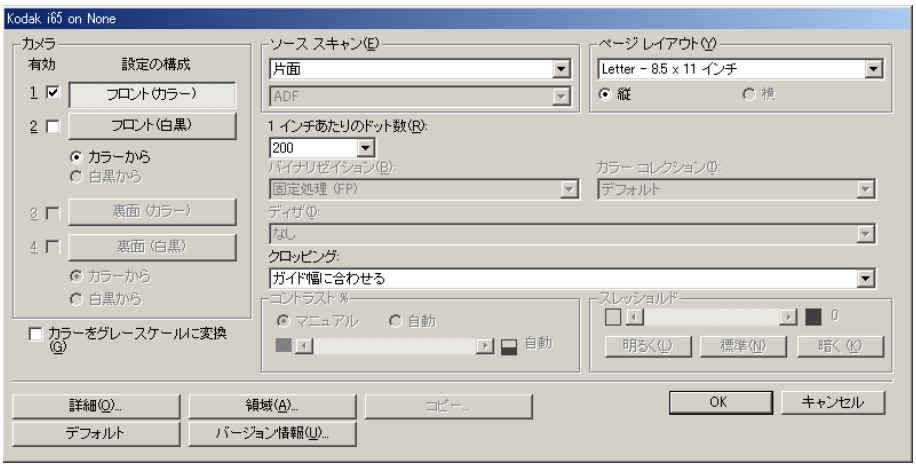
トランスポートタイムアウト

この機能を使用して、トランスポートタイムアウト値を設定できます。この値は、トランスポートタイムアウト動作が行われる前に、最後の原稿がトランスポートへ入って後スキャナが待つ時間です。時間遅延設定を 1 ～ 300 秒の範囲で指定できます。デフォルト値は 10 秒です。

スキャン領域の定義

[Scanner Settings]（スキャナ設定）ダイアログボックスで選択した [Cropping]（クロップ）オプションが [Fixed to Transport]（トランスポートに対して固定）または [Relative to Document]（原稿に対して相対的）クロップであるときのみ、[Scan Area]（スキャン領域）ダイアログボックスは利用可能です。

[Scan Area]（スキャン領域）ダイアログボックスを表示するには、[Scanner Settings]（スキャナ設定）ダイアログボックス上で [Area]（領域）を選択します。

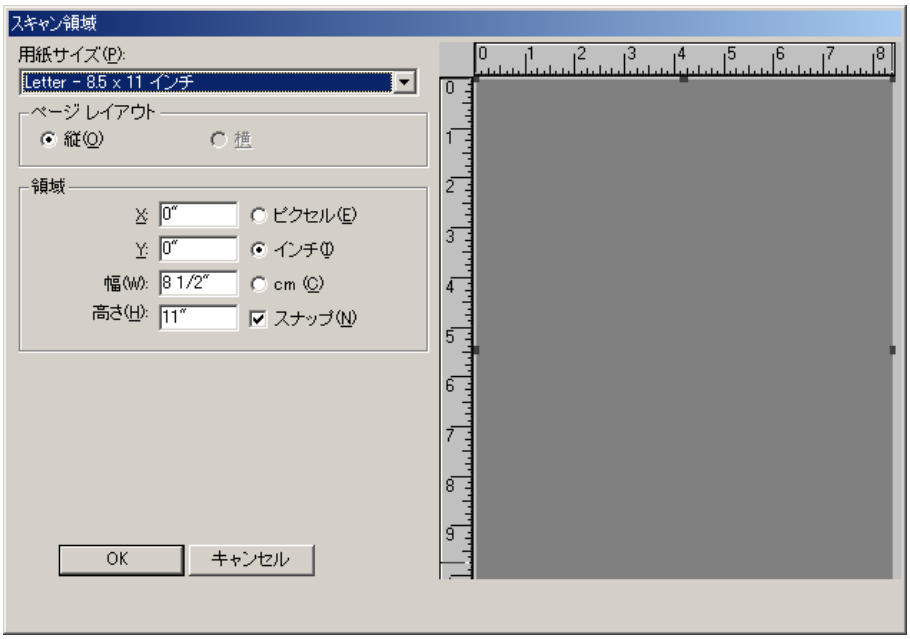


注： [Front Color/Grayscale]（表面カラー／グレースケール）、[Front Binary]（表面バイナリ）、[Back Color/Grayscale]（裏面カラー／グレースケール）、[Back Binary]（裏面バイナリ）をハイライト表示させるか、あるいは [Scanner Settings]（スキャナ設定）ダイアログボックスで各項目に対して選択されたクロップオプションに基づき適宜ハイライト表示させることにより、定義する面と画像を選択します。すべてのカメラ選択項目に対して定義されたスキャン領域は、それぞれ独立しています。

[Scan Area]（スキャン領域）ダイアログボックス

[Scan Area]（スキャン領域）ダイアログボックスを使用して、ホストへ送信される画像データの量を定義できます。領域は、ピクセル、インチまたは cm で定義できます。

[Scanner Settings]（スキャナ設定）ダイアログボックス上で [Fixed to Transport]（トランスポートに対して固定）または [Relative to Document]（原稿に対して相対的）を選択したときのみ [Scan Area]（スキャン領域）ダイアログボックスが利用可能です。



[Page size and layout]（ページサイズおよびレイアウト）- スキャナを初めて選択すると、デフォルトの用紙サイズが設定されます。ドロップダウンリストボックスを使用して、異なる用紙サイズを選択できます。

注： [Page Size]（ページサイズ）および [Page Layout]（ページレイアウト）の選択項目も [Scanner Settings]（スキャナ設定）ダイアログボックスに表示されます。[Scan Area]（スキャン領域）ダイアログボックスで変更を行った場合、同じ選択項目が [Scanner Settings]（スキャナ設定）ダイアログボックスに表示され、逆の場合も同様です。

[Page Layout]（ページレイアウト）領域を使用して、[Portrait]（ポートレート）または [Landscape]（ランドスケープ）を選択できます。

[Portrait]（ポートレート）では、従来のポートレート形式での画像方向を表示します。この場合、高さが幅よりも大きいです。

[Landscape]（ランドスケープ）では、従来のランドスケープ形式での画像方向を表示します。この場合、幅が高さよりも大きいです。

[Area]（領域）:

[X] - スキャナの左端からスキャン用領域の左端までの距離。

[Y] - 原稿の上端からスキャン用領域の上端までの距離。

[Width]（幅）- スキャン用領域の幅。

[Height]（高さ）- スキャン用領域の高さ。

[Snap]（スナップ）- [Area]（領域）ボックスの寸法を固定の 1/8 インチ単位でコントロールします。このオプションは、[Pixels]（ピクセル）モードでは利用できません。

5 保守

清掃手順

スキャナは定期的に清掃する必要があります。原稿が簡単に送られない場合、数枚の原稿が同時に送られる場合、あるいは画像にすじが現れる場合、スキャナを清掃する必要があります。この章の終わりの「供給品と消耗品」には、スキャナの清掃に必要な供給品のリストが示してあります。

重要： コダック部品サービス部門により提供されているような不燃クリーナのみを使用します。家庭用クリーナは使用しないでください。

密閉された場所でクリーナを使用しないでください。適切な換気が必要です。

高熱面にクリーナを使用しないでください。使用する前に、室温まで面を冷ましてください。

フィードローラの清掃

1. ADF カバーを持ち上げます。

2. ローラクリーニングパッドで、フィードローラを端から端まで拭きます。フィードローラを回転させて、全表面を清掃します。

重要： ローラクリーニングパッドには、目に刺激を与える可能性のあるラウリル硫酸エーテルナトリウムが含まれています。詳細については、MSDS を参照してください。

3. ローラを柔らかい布で拭いて乾かします。

フィードモジュールの清掃

1. フィードモジュールを所定位置に保持しているプラスチッククランプを握り、所定位置から持ち上げることにより、フィードモジュールを取り外します。

2. ローラクリーニングパッドで、フィードモジュールを上から下まで拭きます。

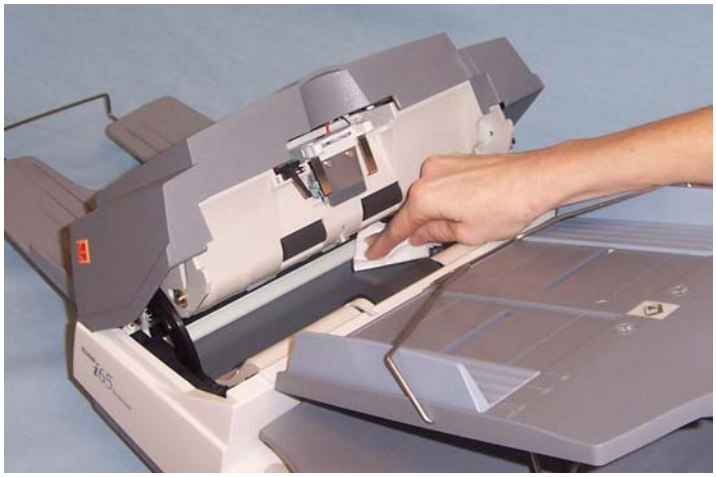
3. フィードモジュールをスロットへ位置あわせして、パチンと音がしてフィードモジュールが所定の位置にはまるまで押し込み、フィードモジュールを再度取り付けます。

イメージング領域の清掃

1. 静電クリーニングクロスまたは小さなブラシを使用して、このエリアからほこりとごみを除去します。清掃時にガラスに傷を付けないよう注意してください。

   上下の白いバックグラウンドストリップを清掃するときには、十分に注意してください。黒い小型のタブに静電クリーニングクロスを引っかけないように注意してください。このタブは破損しやすく、曲がったり割れたりする可能性があります。

   重要 : 静電クリーニングクロスには、目に刺激を与え、肌のかさつきの原因となるイソプロパノールが含まれています。メンテナンス作業が終わったら、石鹸と水で手を洗ってください。詳細については、MSDS を参照してください。



2. 色むらがある場合は、わずかに湿り気のある静電クリーニングクロスを使用して、再度イメージングエリアを拭きます。
3. 完了時に、ADF カバーを閉じます。

プラテンガラスの清掃

プラテングラス上のしみと指紋を除去する方法 :

1. フラットベッドカバーを開きます。
2. フラットベッドのプラテンガラスを新しい静電クリーニングクロスで拭きます。
3. フラットベッドのプラテンガラスを乾燥した静電クリーニングクロスで拭きます。

交換手順

ここでは、次の部品の交換手順について説明します。

- フィードモジュールの寿命は、用紙タイプ（化学処理用紙）、環境および清浄度に応じて変わります。
- ペーパーフィードローラの寿命は、用紙タイプ（化学処理用紙）、環境および清浄度に応じて変わります。
- 入力トレイおよびフラットベッドカバーは、損傷した場合のみ交換が必要です。

フィードモジュールの交換

フィーダ性能の低下、多重送り、停止などは、フィードモジュールを交換する必要があることを示しています。定期的に清掃を行わなかったり、推奨されない清掃用溶剤を使用すると、フィードモジュールの寿命が短くなる場合があります。

追加フィードモジュールについては、この章で後述する「供給品と消耗品」を参照してください。

1. ADF カバーを開きます。

2. フィードモジュールを所定位置に保持しているプラスチッククランプを握り、所定位置から持ち上げます。

3. 所定の位置にパチンとはまるまでフィード モジュールをスロットへ位置あわせして所定の位置へ押し込むこみます。
4. ADF カバーを閉じます。

ペーパーフィードローラの交換

1. ADF カバーを開きます。

2. タブを持ち上げ、ペーパーフィードローラのカバーを取り外します。

3. ペーパーフィードローラを取り外します。

4. タブをスロットに位置あわせし、ローラを所定の位置へ押し込んで新しいペーパーフィードローラをセットします。

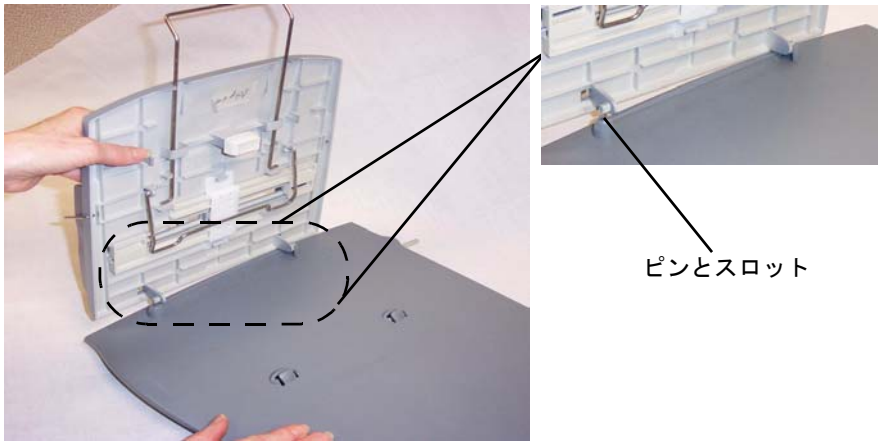
5. ペーパーフィードローラのカバーを再度取り付け、所定位置へパチンとはめ込みます。
6. ADF カバーを閉じます。

入力トレイの交換

入力トレイの再取り付けまたは交換が必要な場合、次の手順に従います。

1. フラットベッドカバーをまっすぐ持ち上げることにより、スキャナからフラットベッドカバーを取り外します。

2. 図に示すように入力トレイを持ち上げ、入力トレイをスロットから静かに持ち上げます。



新しい入力トレイの取り付け方法

1. （上図に示すように）入力トレイ上のピンをフラットベッドカバー上のスロットと位置合わせし、入力トレイを所定位置に押し込みます。
2. 入力トレイをフラットベッドカバーに向けて下げます。
3. フラットベッドカバーをスキャナ上へ戻します。

フラット ベッド カバーの交換

フラットベッドカバーの再取り付けまたは交換が必要な場合、次の手順に従います。

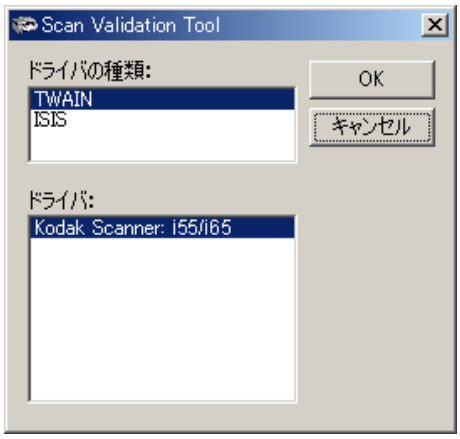
1. フラットベッドカバーをまっすぐ持ち上げることにより、スキャナからフラットベッドカバーを取り外します。

2. ピンをスキャナ本体上の穴に位置合わせし、フラットベッドカバーを所定位置に設定することにより、新しいフラットベッドカバーを取り付けます。

スキャナのロック

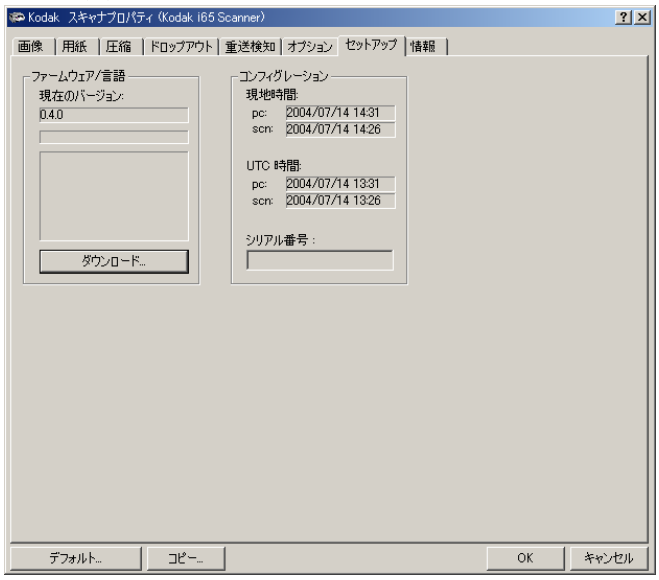
TWAIN データ ソースは、スキャナをシッピングスイッチで物理的にロックする前にカメラを所定位置へ移動する [Lock camera]（カメラのロック）オプションを提供しています。ISIS は、このオプションを提供していません。TWAIN データ ソースの場合、ユーザーは次の手順に従います。

1. ホスト PC の電源をオンにし、Scan Validation Tool（スキャン検証ツール）を起動します。

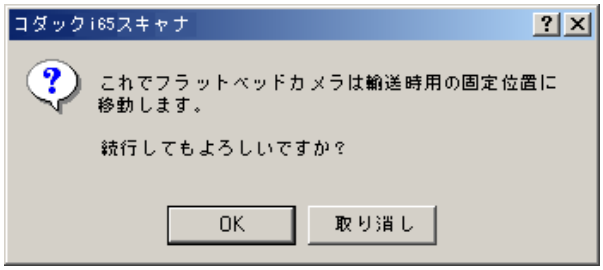


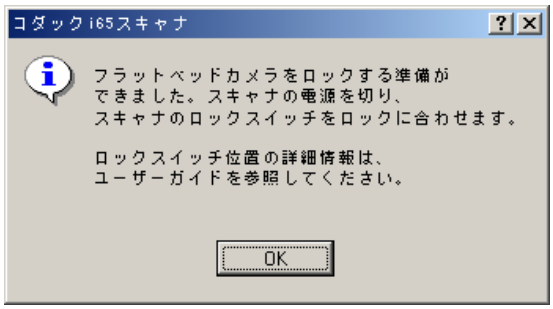
注：Scan Validation Tool（スキャン検証ツール）の起動の詳細説明については、第 4 章「画像処理」の「スキャン検証ツールの起動」を参照してください。

2. [Setup]（設定）タブを表示し、[Lock Camera]（カメラのロック）ボタンをクリックします。



次のメッセージが表示されます。





3. 両メッセージに対して [OK] をクリックします。
4. （スキャナの下部にある）シッピングスイッチをロックの位置に押し上げてスキャナをロックします。

供給品と消耗品

供給品を注文するには、スキャナ供給業者に連絡してください。

概要	CAT No.
コダックフィードモジュール	162 3362
Kodak Digital Science ローラクリーニングパッド	853 5981
コダックスキャナー用静電クリーニングクロス	896 5519
フィードローラキット i55/i65 用	154 4303

6 トラブルシューティング

スキャナが正しく機能しない状況が発生することがあります。技術サポートへ連絡する前に、状況を解決するためにこの章の情報を参照してください。

インジケータライトとエラーコード

インジケータライトは、スキャナの現在の状態に関する情報を表示します。

点滅する緑：スキャナが電源節約モードからウォームアップを行っており、スキャンの準備を行っていることを表示します。

点灯する緑：スキャナがスキャンの準備完了ができていることを表示します。

点滅する赤：ADF カバーが開いているなどのスキャナエラーを表示します。

原稿紙詰まりの除去

原稿紙詰まりのためスキャナがスキャンを停止した場合、次の手順に従います。

1. ADF カバーを開きます。

2. スキャナ内部から詰まった原稿を除去します。
3. カバーを閉じます。

サービスについて

スキャナに修理が必要な場合には、次の Web サイトをご覧ください。

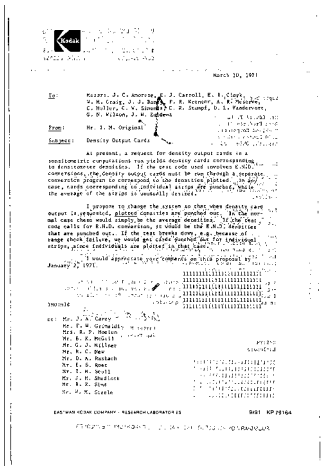
www.kodak.com/go/docimaging

その Web サイトで、お近くでスキャナを修理するための最適な方法を知ることができます。

問題解決

次のチャートをガイドとして使用し、コダック i55/i65 スキャナの使用時に発生する問題の解決策を確認します。

問題点	考えられる解決策
スキャナがスキャンしない、LED が点灯しない。	以下を確認してください。 • 電源コードがスキャナ背面および壁のコンセントにしっかりと接続されている。 • 電源上で電源ランプが点灯している。 • 電源スイッチがオンになっている。 • 壁のコンセントに問題がない（資格のある電気技術者にお問い合わせください）。 • PC またはスキャナあるいはその両方がソフトウェアのインストール後に再起動されていない。
画像品質が : • 劣っている • 低下している • 縞またはすじがある	• イメージング領域を清掃してください。第 5 章「保守」の手順を参照してください。
ジャムが発生する	以下を確認してください。 • スキャンする原稿の幅に合わせて入力トレイとサイドガイドが調整されている。 • スキャンする原稿の高さに合わせて出力トレイが調整されている。 •「原稿の準備」に示すように、すべての原稿がサイズ、重量およびタイプの仕様を満足している。 • スキャナが清潔である。 • フィードモジュールが正しく取り付けられ、所定位置に保持されている。
スキャナの電源をオンにすると、ノイズが発生し、準備完了状態にならない。	• シッピングスイッチがロック解除されていない。ロックを解除してください。第 2 章の「スキャナのロック解除」を参照してください。 • スキャナが平らな場所に設置されていない。スキャナが正しく機能しない原因になる場合があります。
スキャナから画像を指定できるが、スキャン中にスキャナまたはコンピュータがクラッシュする。	• SCSI または USB ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 • 2 つの SCSI ターミネータだけを SCSI チェーンへ接続できます。1 つは SCSI デバイス端で、もう 1 つはすでにホストアダプタ内にあります。 • スキャナが SCSI チェーン上で最後のデバイスである場合、SCSI ターミネータがオンであることを確認してください。第 2 章「SCSI 接続」を参照してください。 • SCSI チェーン上の複数の品目が同じ ID を持っていないか確認してください。第 2 章の「SCSI 接続」を参照してください。
ゆがんだ画像	• フィーダは、入力トレイに最大 50 枚の原稿を収納します。スキャンの実行中には、原稿をフィーダへ追加できません。原稿を追加した場合、画像がゆがむことがあります。
画像が表示されない	• スキャナの電源を入れ、準備完了になった後に、原稿をフィーダへ挿入してください。スキャナの電源を入れる前に原稿を入力トレイに置くと、原稿は送られても画像は表示されません。 • 原稿のテキスト面を（オペレータ方向ではなく）フィードトレイに向けて置きます。詳細については、第 3 章の「原稿のスキャン」を参照してください。

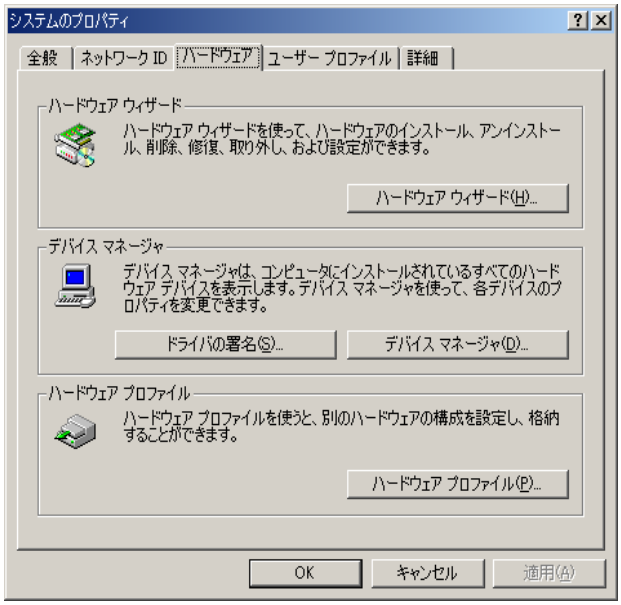
問題点	考えられる解決策
画像の角が切り取られている 	画像の角が切り取られている場合、スキャナが処理するには傾き角度が大きすぎます。 • 原稿の先端を揃え、原稿サイズに合わせてサイドガイドを正しく設定し、原稿が大きく傾かない状態で入力トレイに置かれていることを確認してください。 • 大量の原稿をスキャンする場合、原稿を分けてください。
画像が正しくクロップされない	[Auto]（自動）または [Aggressive]（積極的）のクロップが有効でかつクロップが正しく行われない場合は、イメージング領域の白いバックグラウンドストリップを清掃してください。 • 第 5 章「保守」の「イメージング領域の清掃」の手順を参照してください。 9.4 x 14 cm 未満のサイズから画像をスキャンすると、原稿が途中で切れる可能性があります。 •[Auto]（自動）または [Aggressive]（積極的）のクロップは使用しないでください。
スキャン後に、ローラの跡が原稿に現れる	ローラを清掃します。第 5 章「保守」の手順を参照してください。
画像の黒のバックグラウンドがにじんでいる 	半透明の原稿をスキャンするとき、黒いにじみが画像に表われる場合があります。この症状を最小限に抑えるため、[Contrast]（コントラスト）値を調整するか、[Fixed Processing]（固定処理）を選択して画像を改善します。[Contrast]（コントラスト）および [Fixed Processing]（固定処理）の詳細情報については、第 4 章「画像処理」を参照してください。

スキャナが機能しない

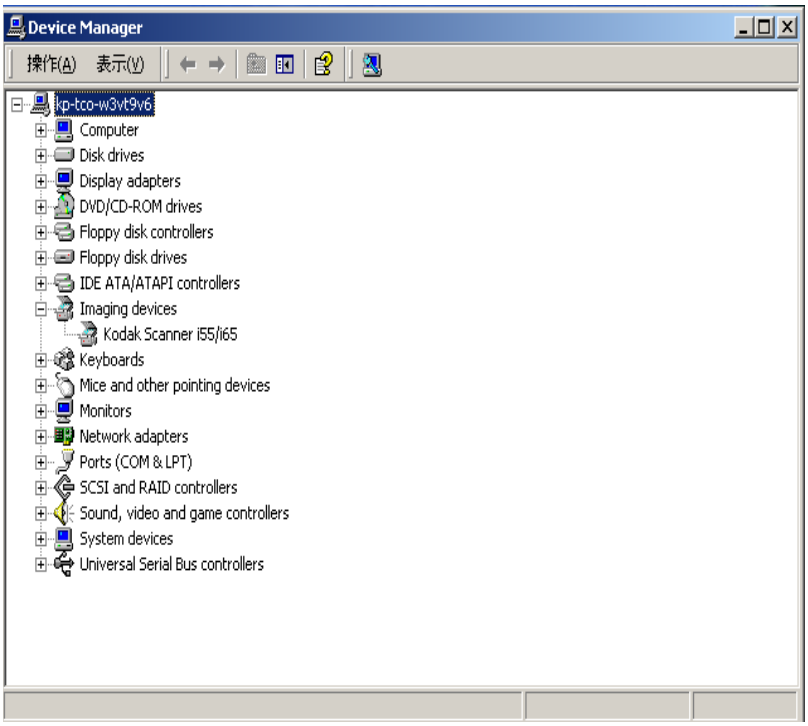
スキャナが機能しない場合、ドライバを再インストールする必要がある場合があります。これを確認するため :

1. [マイコンピュータ] アイコンをクリックし、マウスの右ボタンをクリックします。
2. [プロパティ] を選択します。

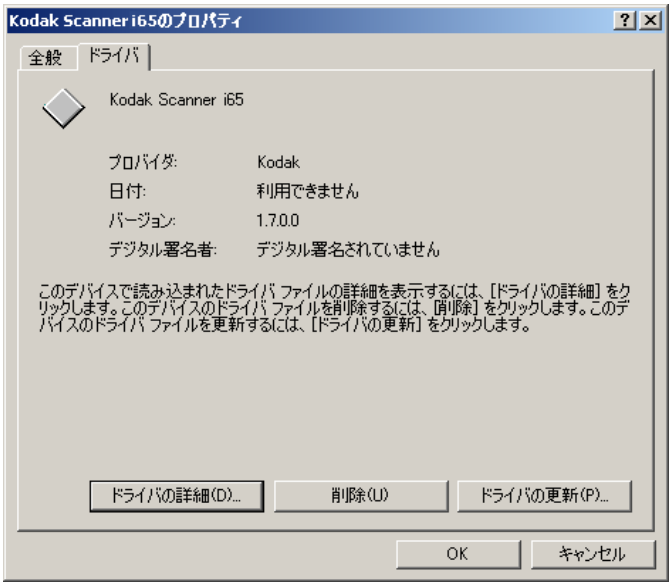
3. [ハードウェア] タブをクリックし、[デバイスマネージャ] を選択します。



4. [デバイスマネージャ] 画面から、[イメージングデバイス] を選択します。コダック i55/i65 スキャナが名前の前に？を付けて表示された場合、ドライバソフトウェアを再インストールする必要があります。



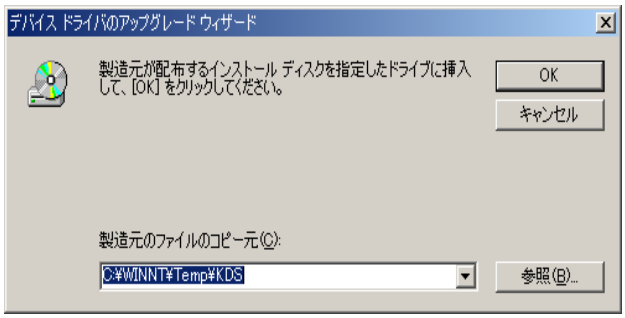
5. コダックスキャナ i65（または i55）をダブルクリックします。[スキャナのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。[ドライバ] タブを選択します。



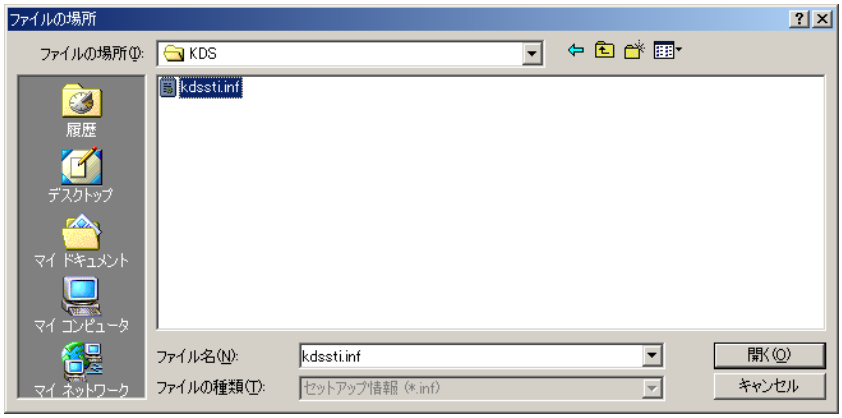
6. [ドライバの更新] をクリックします。デバイスドライバの更新ウィザードが表示されます。

7. [次へ] をクリックします。

8. [次へ] をクリックします。



9. コダックインストール CD を CD-ROM ドライブへ挿入し、KDS フォルダを探します。kdssti.in ファイルを探し、選択します。



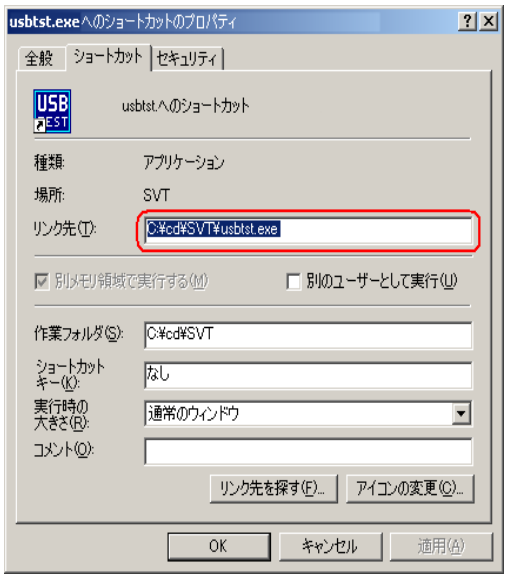
10. [開く] をクリックし、プロンプトに従ってドライバをインストールします。

USB 接続のテスト

コダック i55 および i65 スキャナ用のコダックデバイスドライバがインストールされると、USB テストソフトウェアのコピーもインストールされます。デフォルト設定では、このソフトウェアはコダック [Scan Validation Tool]（スキャン検証ツール）ソフトウェアとともに次のフォルダにあります。

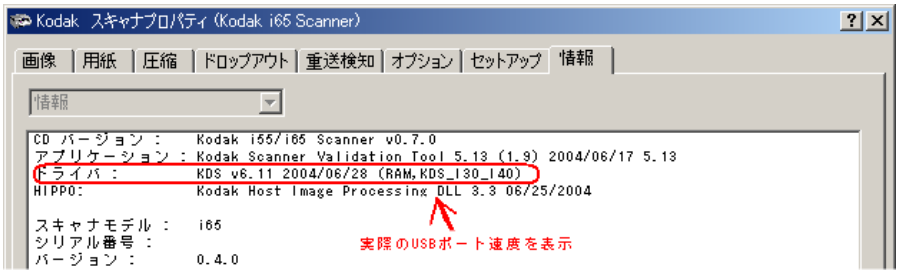
C:\program files\Kodak\Document Imaging\usbtst.exe

この実行ファイル（usbtst.exe）を実行すると、USB 値およびプロトコル一式が表示されます。この時点で、ソフトウェアアプリケーションはすべてのオペレーティングシステムで機能しますが、Windows XP システムでのみ有効です。



実行ファイルのショートカットが生成され、/test スイッチが“Target”パスの終わり（引用符の右）に追加された場合、ショートカットからの起動を行うと、ショートカットは上記のダイアログボックスを実行し、すべてのオペレーティングシステムで機能します。

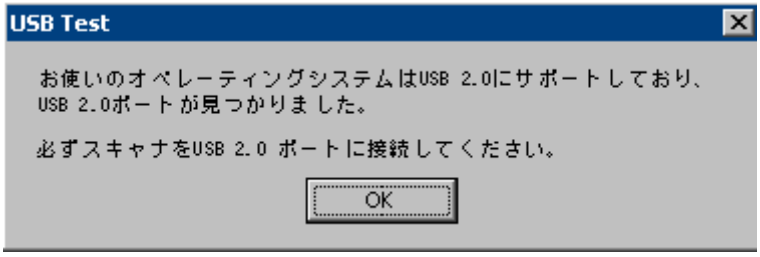
スキャナで USB ポート速度を確認するには、[Scan Validation Tool]（スキャン検証ツール）ソフトウェアを実行し、[Info]（情報）タブを選択します。USBSCAN/x.x が [Driver:] x.x は、スキャナが実際に通信を行っている速度です。



USB 接続の問題

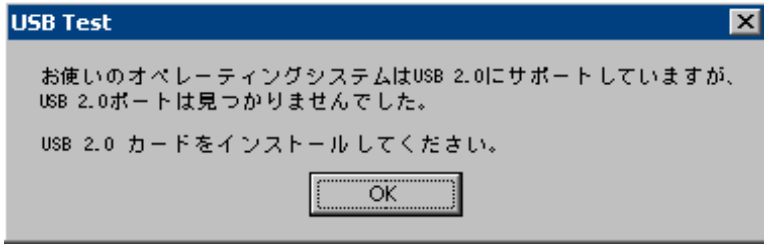
USB 検証ツールがオペレーティングシステムとハードウェアをチェックし、USB 2.0 が機能しているかどうか、または USB カードのインストールが必要かどうかを判断します。

オペレーティングシステムが USB 2.0 をサポートするように正しく構成されている



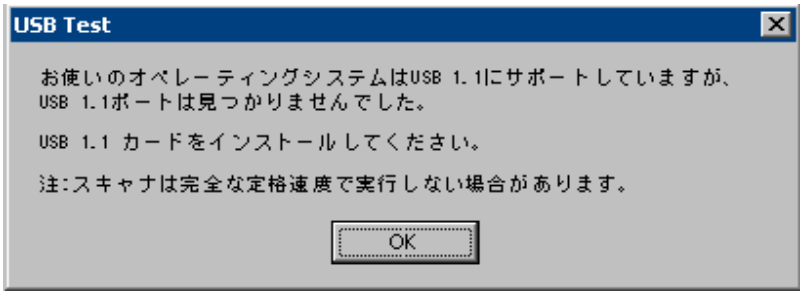
機能している USB 2.0 ポートが存在している場合、次のダイアログボックスが表示されます。

お使いのオペレーティングシステムは USB 2.0 をサポートしているが、USB 1.1 ポートが検出された



- PC に USB 2.0 ポートがインストールされていない場合は、USB 2.0 アクセサリカードをインストールしてください。
- USB 2.0 のポートまたはカードが取り付けられているが USB テストツールが USB カードを 2.0 として認識しない場合は、カードのドライバをインストールするか、更新してください。

オペレーティングシステムが USB 1.1 だけをサポートしている

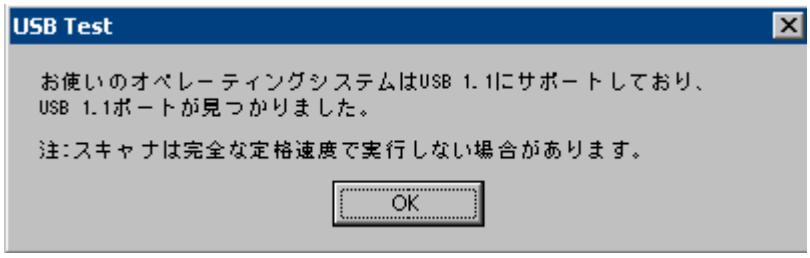


USB 2.0 をサポートせず、USB 1.1 しかサポートしないホスト PC オペレーティングシステムがあります（Windows 98SE など）。コダック i55 および i65 スキャナは、USB 2.0 で動作するよう設計されています。USB 1.1 ポートでも機能しますが、その場合、スキャナは USB 1.1 速度でしか動作しません。

対策

- オペレーティングシステムを Windows 2000 または Windows XP などの USB 2.0 をサポートするシステムへ更新します。
- USB 2.0 のカードを追加することはできますが、USB 1.1 としてのみ動作します。

追加の USB カードの取り付けは不要です。



ホスト PC オペレーティングシステムは USB 1.1 だけをサポートし、USB 2.0 をサポートしませんが、USB ポートを見つけました。コダック i55 および i65 スキャナは、USB 2.0 で動作するよう設計されています。USB 1.1 ポートでも機能しますが、その場合、スキャナは USB 1.1 速度でしか動作しません。

対策 オペレーティングシステムを Windows 2000 または Windows XP などの USB 2.0 をサポートするシステムへ更新します。[Scan Validation Tool]（スキャン検証ツール）アプリケーションをスキャナとともに使用することにより、動作しているスキャナポート速度を確認することもできます。

USB が機能しない

このオペレーティングシステムは USB ポートをサポートしていません。オペレーティングシステムを Windows 98SE、Windows 2000 または Windows XP などの USB をサポートするシステムへ更新することをお勧めします。

付録 A 仕様

スキャナのタイプ／速度	• i55 スキャナ：片面カラースキャナ、自動原稿フィーダ付き、200dpi 白黒読み取り時 32 ページ／分（肖像画） • i65 スキャナ：両面カラースキャナ、自動原稿フィーダ付き、200dpi 白黒読み取り時 32 ページ／分（肖像画）
スキャンテクノロジー	CCD タイプ グレースケール出力ビット深さ：8 カラーキャプチャビット深さ：48 カラー出力ビット深さ：24
出力解像度	75、100、150、200、240、300、400 および 600dpi
出力ファイル形式	BMP、TIFF、JPEG、PDF（バンドルソフトウェア付き）
スキャン領域	自動原稿フィーダ • 最大 - 21.6 x 86cm（ホスト PC に十分なメモリがある場合） • 最小 - 9.4 x 14cm フラットベッド : 最大 21.6 x 29.7cm
ADF 容量	50 枚（A4、20 ポンド用紙）
推奨処理量／日	1,500
照明	冷陰極蛍光ランプ
電源仕様	100 ～ 240VAC、50/60Hz
スキャナの寸法	高さ：19.9cm 幅：56.7cm 奥行き：35cm
スキャナの重量	i55: 6.7 kg i65: 7.5 kg
ホスト接続	USB 2.0 または SCSI II
動作温度	10 ℃～ 35 ℃
湿度	20 ～ 80%
環境要因	Energy Star 認証スキャナ
スキャナ電源	電圧 : 24.0VDC、電流 : 2.0A
消費電力	i55 待機モード：<20W i55 動作時：<30W スリープモード : <12W i65 待機モード：<30W i65 動作時：<40W スリープモード : <12W
騒音レベル （音響出力）	動作時：58dB 未満 待機モード : 46dB 未満

付録 B 保証情報 - 米国

保証

本書の保証制限に従い、コダックはその製品が保証期間中に正しく機能することを保証します。保証期間は、出荷日から 1 年以内に設置したときには初めて設置した日付から始まります。（購入価格に設置費用が含まれていない場合、保証は出荷日の 14 日以後に有効になります）。コダックは、コダックにより別個に提供された適用可能な仕様に製品が適合することを保証し、材料と製作における製造関連の欠陥についての責任はありません。この保証は、装置の購入者だけでなく、保証期間中に所有する者も対象とします。

保証修理の範囲

保証期間中に製品が正しく機能しなかった場合、コダックは、メーカーが発行した仕様に基づく動作条件で製品を維持するために必要な [メーカーのマニュアルに記述されているイメージ保守キット、供給品および消耗品（ディスク、用紙、リボン、プリントヘッド、フィードローラおよび他の品目など）を除く] 部品の調整または交換を含む電話サポートまたはオンサイト保守を無料でコダックの通常業務時間内 （通常は午前 8:00 ～午後 5:00、月曜から金曜）に提供します。製品から取り外され、無料で交換された部品は、コダックの所有となります。

サービスを受ける方法

コダックの顧客サポートセンター（1 (800) 356-3253）へご連絡ください。装置サービス識別番号（装置に示すコダック K 番号）を提示する必要があります。

保証制限

A. コダックの管理責任を超えた状況（顧客による製品のインターロックスイッチの無視、バイパスまたは破損など）

B. 不正使用、乱用、またはメーカーからの製品操作指示の不履行

C. 保証サービスは米国に限られています。

コダックは、商品性の保証またはこの製品の特定目的への適合性の保証を含むがそれらに限定されない、明示的、暗黙的または法的な他の保障を行いません。

無料の修理または交換は、本保証に基づくコダックの唯一の義務です。コダックは、原因に拘わらず本製品の販売、使用または不適切な機能操作から生じる結果的または付随的損害に責任を持ちません。コダックが責任を持たない当該損害には、収益または利益の損失、ダウンタイムコスト、製品使用損失、データ損失、代替製品コスト、当該損害についての顧客の施設またはサービスまたは請求が含まれますがそれらに限定されません。

この責任制限は、コダックまたはその指示あるいは管理下にある個人の軽視または過誤による人身傷害または資産損害についての請求には適用されません。

Kodak Japan Ltd.
Commercial Imaging
Sumitomo Twin Bldg.
2-27-1, Shinkawa Chuo-ku,
Tokyo, 104-0033
JAPAN

〒 104-0033
東京都中央区新川 2-27-1
東京住友ツインビル
コダック株式会社
コマーシャルイメージング事業部

EASTMAN KODAK COMPANY
Document Imaging
Rochester, New York 14650
UNITED STATES

www.kodak.com/go/docimaging

コダックは、イーストマン コダック社の商標です。

A-61527_ja 2006 年 5 月
© イーストマンコダック社 2006

DOCUMENT IMAGING

INNOVATION YOU CAN COUNT ON™